

施策 4 4 2

障害者の社会参加を支援し、
生きがいを創出する

令和7年度 施策評価シート

基本目標	IV 安心して暮らせる「すみだ」をつくる
政 策	440 障害者が地域のなかで輝いて生きるしくみをつくる
施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する
施策の目標	障害者がそれぞれの希望に沿って社会に参加し、社会の一員としての役割を担い、働きがいや生きがいを感じながら、楽しくいきいきと日常生活を送っています。

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	福祉施設から一般就労への移行者数				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目標	22人	32人	32人	32人	32人
実績	24人	27人	24人	38人	40人
	R3	R4	R5	R6	R7
目標	45人	45人	45人	45人	45人
実績	32人	33人	39人	34人	

指標名	すみだ障害者就労支援総合センター・就労支援登録者数の離職者数				
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	R2
目標	29人	29人	28人	28人	27人
実績	39人	30人	32人	37人	39人
	R3	R4	R5	R6	R7
目標	27人	26人	26人	25人	25人
実績	35人	38人	40人	32人	

2 目標と現状（実績）についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
障害者雇用率は上昇傾向にあるものの、障害による社会障壁等が完全に排除されている状況にはない。引き続き、障害への理解促進、障害者への差別解消等を図るための施策を展開していく必要がある。	R4	1,023,043
	R5	1,100,566
	R6	1,083,213

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	施策目標が一定程度達成されている。

4 今後の施策の運営方針

	施策の戦略的方向性
○	（１）優先的に資源投入を図る
●	（２）現状維持とする
○	（３）現状維持だが、より効率的な運営を図る
○	（４）資源投入の縮小を図る
上記の判断理由	
何人も障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するため、障害者の自立及び社会参加の支援等のための施策を総合的かつ計画的に推進していく必要がある。	
今後の具体的な方針	
障害者基本法等の目的を達成する等のため、引き続き、ノーマライゼーションの理念の浸透に寄与する施策に取り組んでいく。	

5 この施策に係る事務事業

番号	事務事業名	主管課	決算額(A) (千円)	人コスト(B) (千円)	総事業費 (A+B) (千円)	評価結果
1	重度肢体不自由児(者)生活介護事業所運営補助事業	障害者福祉課	104,147	3,662	107,809	現状維持
2	肢体不自由児者通所訓練所運営支援事業費	障害者福祉課	43,025	3,662	46,687	現状維持
3	障害者による公園等美化活動支援事業費(障害者福祉)	障害者福祉課	25,764	1,831	27,595	現状維持
4	心身障害者団体事業助成費	障害者福祉課	20,019	3,662	23,681	現状維持
5	亀沢のぞみの家管理運営費	障害者福祉課	10,214	3,662	13,876	現状維持
6	地域生活促進事業(重度障害者大学等修学支援事業)	障害者福祉課	1,516	9,154	10,670	現状維持
7	地域生活支援推進事業(重度障害者等就労支援事業)	障害者福祉課	0	9,154	9,154	現状維持
8	心身障害者自立支援助成費	障害者福祉課	5,037	1,831	6,868	現状維持
9	障害者理解啓発事業費	障害者福祉課	2,743	3,662	6,405	現状維持
10	すみだスマイル・フェスティバル事業費	障害者福祉課	1,505	4,577	6,082	現状維持
11	障害者虐待防止センター事業費	障害者福祉課	1,973	2,746	4,719	現状維持
12	医療的ケア児等支援事業費	障害者福祉課	356	3,662	4,018	現状維持
13	障害者余暇活動支援事業費	障害者福祉課	1,004	915	1,919	現状維持
14	障害者福祉功労者等顕彰費	障害者福祉課	77	1,831	1,908	現状維持
15	障害者施策推進協議会事業費	障害者福祉課	105	915	1,020	現状維持
16	会計年度任用職員給与費	すみだふれあいセンター	69,735	131,711	201,446	現状維持
17	すみだふれあい福祉作業所事業費	すみだふれあいセンター	69,735	131,711	201,446	現状維持
18	すみだふれあいセンター維持管理費(共用部分)	すみだふれあいセンター	33,732	9,154	42,886	現状維持
19	移動支援事業費(すみだふれあいセンター)	すみだふれあいセンター	11,839	0	11,839	現状維持
20	維持管理費	すみだふれあいセンター	889	9,154	10,043	現状維持
21	生産品販売コーナーの事務局運営委託費	すみだふれあいセンター	5,104	2,746	7,850	現状維持
22	新商品開発等支援事業費	すみだふれあいセンター	4,800	2,746	7,546	現状維持
23	すみだ障害者就労支援総合センター事業	すみだ障害者就労支援総合センター	145,316	27,507	172,823	現状維持
24	障害者による公園等美化活動支援事業費(保健予防課)	保健予防課	3,218	915	4,133	現状維持
25	精神障害者自立支援給付事業所運営支援事業費	保健予防課	108,753	2,746	111,499	改善・見直しのうえ継続
26	心の健康づくり対策事業費	健康推進課	7,253	32,039	39,292	現状維持

令和7年度 事務事業評価シート

No. 1

施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する					
事 業 名	重度肢体不自由児（者）生活介護事業所運営補助事業費					
主管課	障害者福祉課				電話番号（内線）	3368
目 的	重度肢体不自由児（者）を対象とした生活介護事業所を運営する事業者に対し、運営費を補助することにより、運営の安定化を図り、障害者の社会参加を支援する。					
対 象 者	社会福祉法人晴山会					
根拠法令 関連計画	墨田区障害者生活介護事業運営費補助金交付要綱、墨田区重度障害者施設支援体制強化補助金交付要綱 墨田区障害者日中活動系サービス推進事業補助金交付要綱外2件					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤職員2名	
事業内容	各補助要綱に沿って、運営費・人件費・送迎車両運行費・昼食費等の補助を実施する。					
経 過	開始年度	平成30年度			終了予定	
	平成30年度から補助を実施					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		127,087	122,920	115,416	114,625	121,111	128,163
A. 決算額（令和7年度は見込み）		115,173	110,413	114,139	112,755	104,147	128,163
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	2,064	1,428	2,232	1,911	3,264	3,915
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		113,109	108,985	111,907	110,844	100,883	124,248
執行率（％）		90.63％	89.83％	98.89％	98.37％	85.99％	100％
B. 人コスト		3,529	3,518	3,272	3,405	3,662	
総事業費（A+B）		118,702	113,931	117,411	116,160	107,809	
予算書P（令和7年度）		155-14		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	112,755	負担金補助及び交付金	104,147	負担金補助及び交付金	128,163
概 要		概 要		概 要	
補助金		補助金		補助金	

事業成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	年間延べ利用者数				単位	人
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		2,790	令和7年度	目標	—	—	1,490	2,240
				実績	—	—	1,217	1,558
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,240	2,240	2,240	2,420	2,790	2,790
		実績	1,307	1,402	1,279	1,096	1,484	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		延べ利用者数は、福祉サービスの提供の確保が反映されていることの一つである。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	1日当たりの利用者数				単位	人
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		15	令和7年度	目標	—	—	5	12
				実績	—	—	4	5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	12	12	12	13	15	15
		実績	4	5	5	4	3	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		1日当たりの利用者数は、福祉サービスの提供の確保が反映されていることの一つである。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	最重度障害者が利用者の大半を占める事業所においては、人件費補助による支援体制強化が不可欠であるため、補助を継続していく必要がある。現在、利用者が定員に満たないため、定員以下の人数設定としている。墨東特別支援学校卒業生の推移に合わせ目標設定を行う。

課題・問題点

令和 7 年度 補助金評価シート

No. 1

補助金名	重度肢体不自由児(者)生活介護事業所運営補助事業		
主管課	障害者福祉課	電話番号(内線)	3368
根拠法令	墨田区障害者生活介護事業運営費補助金交付要綱		
補助概要	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第7項に規定する生活介護を実施する社会福祉法人に対し、事業所の運営に係る経費の一部を補助する。		
目的	生活介護事業を行う事業所の安定化を支援し、もって障害者福祉の向上を図ることを目的とする。		
対象	事業所名：すみだ晴山苑クルン 法人名：社会福祉法人晴山会		
基準	区独自基準		
補助条件	(1) 事業所運営経費補助金 交付対象事業所の運営経費のうち、建物賃借料、光熱水費、業務委託費、賃借料及び保守料について補助する。 (2) 医療体制強化補助金 交付対象事業所の運営経費のうち、嘱託医の配置に係る経費について補助する。 (3) 事業調整補助金 交付対象事業所の運営の安定化に係る経費について補助する。		
経過	開始年度	平成30年度	終了予定
	平成30年度から補助を実施		
議会質問の状況			
その他特記事項			

予算・決算額推移(単位:千円)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額(令和7年度は当初予算)		89,070	84,887	77,426	78,775	82,855	88,625
A. 決算額(令和7年度は見込み)		79,905	74,415	77,426	76,063	66,491	88,625
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		79,905	74,415	77,426	76,063	66,491	88,625
執行率(%)		89.71%	87.66%	100%	96.56%	80.25%	100%

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	年間延べ利用者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		2,790	令和7年度	目標	—	—	1,490	2,240
				実績	—	—	1,217	1,558
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,240	2,240	2,240	2,420	2,790	2,790
		実績	1,307	1,402	1,279	1,096	1,484	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		延べ利用者数は、福祉サービスの提供の確保が反映されていることの一つであるため。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	1日当たりの利用者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		15	令和7年度	目標	—	—	5	12
				実績	—	—	4	5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	12	12	12	13	15	15
		実績	4	5	5	4	3	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		1日当たりの利用者数は、福祉サービスの提供の確保が反映されていることの一つである。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	サービス利用者の福祉の向上のためには、事業所の運営に係る経費の一部を補助することで、事業所の安定化につながるため継続の必要がある。実態に即した適正な補助を行うため、施設の状況を注視していく。墨東特別支援学校卒業生の推移に合わせ目標設定を行う。

課題・問題点

令和 7 年度 補助金評価シート

No. 1

補助金名	重度障害者施設支援体制強化補助金		
主管課	障害者福祉課	電話番号（内線）	3368
根拠法令	墨田区重度障害者施設支援体制強化補助金交付要綱		
補助概要	生活介護を行う社会福祉法人等が、法令等に規定する人員基準に加えてサービス提供に必要な職員を配置する場合において、その経費の一部を補助する。		
目 的	生活介護事業を行う事業所の安定化を支援し、もって障害者福祉の向上を図ることを目的とする。		
対 象	事業所名：すみだ晴山苑クルン 法人名：社会福祉法人晴山会		
基 準	区独自基準		
補助条件	当該年度の4月1日に在籍する利用者（墨田区重症心身障害児（者）通所支援事業実施要綱（平成24年10月15日24墨福障第1227号）による通所支援費の支給を受ける利用者を除く。）の前年度通所実績値（前年度の利用実績がない新規通所者については、1月当たり23日を上限として利用が見込まれる日数とする。）を用いて、基準職員配置数を算出し、加配している職員分について補助する。		
経 過	開始年度	平成30年度	終了予定
	平成30年度にすみだ晴山苑クルンが開設した。 令和2年度で都の障害者施策推進区市町村包括事業補助のうち、重度障害者施設支援体制強化補助金は終了した。		
議会質問の状況			
その他特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		1,680	1,680	1,260	1,680	1,260	2,100
A. 決算額（令和7年度は見込み）		1,680	1,680	1,260	1,680	1,260	2,100
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	840	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		840	1,680	1,260	1,680	1,260	2,100
執行率（％）		100％	100％	100％	100％	100％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	年間延べ利用者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		2,790	令和7年度	目標	—	—	1,490	2,240
				実績	—	—	1,217	1,558
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,240	2,240	2,240	2,420	2,790	2,790
		実績	1,307	1,402	1,279	1,096	1,484	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		延べ利用者数は、福祉サービスの提供の確保が反映されていることの一つである。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	1日当たりの利用者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		15	令和7年度	目標	—	—	5	12
				実績	—	—	4	5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	12	12	12	13	15	15
		実績	4	5	5	4	3	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		1日当たりの利用者数は、福祉サービスの提供の確保が反映されていることの一つである。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	サービス利用者の福祉の向上のためには、経営の安定化が必要であるため継続の必要がある。 。実態に即した適正な補助を行うため、施設の状況を注視していく。

課題・問題点

令和 7 年度 補助金評価シート

No. 1

補助金名	墨田区障害者日中活動系サービス推進事業補助金		
主管課	障害者福祉課	電話番号（内線）	3368
根拠法令	墨田区障害者日中活動系サービス推進事業補助金交付要綱		
補助概要	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条に規定する障害福祉サービスを実施するために社会福祉法人、特定非営利活動法人、財団法人、社団法人、医療法人、学校法人又は宗教法人が墨田区内に設置する指定障害福祉サービス事業所の運営に要する費用の一部を予算の範囲内で補助する。区が実施した費用に対して、その費用全額を都が負担している。		
目的	障害福祉サービスを行う事業所について、運営に要する費用の一部を予算の範囲内で補助することにより、経営の安定化を図るとともに、サービス利用者の福祉の向上を図ることを目的とする。		
対象	事業所名：すみだ晴山苑クルン 法人名：社会福祉法人晴山会		
基準	区独自基準		
補助条件	この補助金は、法人が墨田区内に設置し、かつ、適正な運営を行っている事業所であって、法第5条に規定する生活介護、自立訓練、就労移行支援又は就労継続支援のうち、いずれかの障害福祉サービスを行うもの（障害者支援施設を除く。）を交付の対象とする。		
経過	開始年度	平成30年度	終了予定
	平成30年度から補助を実施		
議会質問の状況			
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） R5年度から本補助金は、障害者施策推進区市町村包括補助事業から抜き出され、障害者日中活動系サービス推進事業となった。		

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		1,224	1,428	1,830	3,732	3,451	3,915
A. 決算額（令和7年度は見込み）		1,224	1,428	1,830	1,911	3,264	3,915
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	1,224	1,428	1,830	1,911	3,264	3,915
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	0	0
執行率（％）		100％	100％	100％	51.21％	94.58％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	年間延べ利用者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		2,790	令和7年度	目標	—	—	1,490	2,240
				実績	—	—	1,217	1,558
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,240	2,240	2,240	2,420	2,790	2,790
		実績	1,307	1,402	1,279	1,096	1,484	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		延べ利用者数は、福祉サービスの提供の確保が反映されていることの一つである。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	1日当たりの利用者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		15	令和7年度	目標	—	—	5	12
				実績	—	—	4	5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	12	12	12	13	15	15
		実績	4	5	5	4	3	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		1日当たりの利用者数は、福祉サービスの提供の確保が反映されていることの一つである。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	サービス利用者の福祉の向上のためには、経営の安定化が必要であるため継続の必要がある。 。実態に即した適正な補助を行うため、施設の状況を注視していく。

課題・問題点

令和7年度 補助金評価シート

No. 1

補助金名	墨田区障害者通所事業所送迎車両運行費補助金		
主管課	障害者福祉課	電話番号（内線）	3368
根拠法令	墨田区障害者通所事業所送迎車両運行費補助金交付要綱		
補助概要	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第1項に規定する障害福祉サービス事業を運営する事業者が、その運営する事業所の通所者の送迎を実施するに当たり、送迎車両の運行に係る経費を補助する。		
目的	通所者の移動手段を確保し、安定した日常生活及び社会生活の推進を図ることを目的とする。		
対象	事業所名：すみだ晴山苑クルン 法人名：社会福祉法人晴山会		
基準	区独自基準		
補助条件	墨田区内において、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号）第5条第1項に規定する障害福祉サービス事業（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準（平成18年厚生労働省令第171号）第2条第16号に規定する多機能型を含む。）を運営する事業者が、その運営する事業所の通所者（墨田区に住所を有するもの又は援護の実施機関が墨田区であるものに限る。）の送迎を実施するに当たり、送迎車両の運行に係る経費を補助する。		
経過	開始年度	平成30年度	終了予定
	平成30年度にすみだ晴山苑が開設し、肢体不自由児者通所訓練所同様重度対応のバス借上げを行う必要があることから要綱を制定し補助対象とした。		
議会質問の状況			
その他特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		34,473	34,473	34,473	34,368	34,368	33,092
A. 決算額（令和7年度は見込み）		33,694	32,678	33,417	32,881	32,829	33,092
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		33,694	32,678	33,417	32,881	32,829	33,092
執行率（％）		97.7％	94.8％	96.9％	95.7％	95.5％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	年間延べ利用者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		2,790	令和7年度	目標	—	—	1,490	2,240
				実績	—	—	1,217	1,558
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,240	2,240	2,240	2,420	2,790	2,790
		実績	1,307	1,402	1,279	1,096	1,484	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		延べ利用者数は、福祉サービスの提供の確保が反映されていることの一つである。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	1日当たりの利用者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		15	令和7年度	目標	—	—	5	12
				実績	—	—	4	5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	12	12	12	13	15	15
		実績	4	5	5	4	3	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		1日当たりの利用者数は、福祉サービスの提供の確保が反映されていることの一つである。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	通所者の移動手段を確保するためには、送迎バスの運行は不可欠であるため。 開設後数年は利用者が定員に満たないため、定員以下の人数設定としている。

課題・問題点

令和 7 年度 補助金評価シート

No. 1

補助金名	墨田区障害者通所事業所等通所者昼食費助成事業補助金		
主管課	障害者福祉課	電話番号（内線）	3368
根拠法令	墨田区障害者通所事業所等通所者昼食費助成事業補助金交付要綱		
補助概要	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第7項、第12項から第14項までに規定する障害福祉サービス並びに同条第27項に規定する地域活動支援センター事業を実施する社会福祉法人等が、その運営する事業所等の通所者（墨田区に住所を有する者又は援護の実施機関が墨田区であるものに限る。）に対し昼食費を助成する場合において、その経費を補助する。		
目 的	通所者の昼食費の負担軽減を図ることを目的とする。		
対 象	事業所名：すみだ晴山苑クルン 法人名：社会福祉法人晴山会		
基 準	区独自基準		
補助条件	墨田区障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第7項、第12項から第14項までに規定する障害福祉サービス並びに同条第27項に規定する地域活動支援センター事業を実施する社会福祉法人等が、その運営する事業所等の通所者（墨田区に住所を有する者又は援護の実施機関が墨田区であるものに限る。）に対し昼食費を助成する場合において、その経費を補助する。 補助単価については、予算の範囲内で区長が定める。		
経 過	開始年度	平成 3 0 年度	終了予定
	平成 3 0 年度から補助を実施		
議会質問 の 状 況			
そ の 他 特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
予算現額（令和 7 年度は当初予算）		434	451	425	449	449	433
A. 決算額（令和 7 年度は見込み）		160	211	204	219	304	433
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		160	211	204	219	304	433
執行率（％）		36.9 %	46.8 %	48 %	48.8 %	67.7 %	100 %

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	年間延べ利用者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		2,790	令和7年度	目標	—	—	1,490	2,240
				実績	—	—	1,217	1,558
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,240	2,240	2,240	2,420	2,790	2,790
		実績	1,307	1,402	1,279	1,096	1,484	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		延べ利用者数は、福祉サービスの提供の確保が反映されていることの一つである。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	1日当たりの利用者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		15	令和7年度	目標	—	—	5	12
				実績	—	—	4	5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	12	12	12	13	15	15
		実績	4	5	5	4	3	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		1日当たりの利用者数は、福祉サービスの提供の確保が反映されていることの一つである。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	障害者通所事業所等通所者の昼食費の負担軽減を図る。 開設後数年は利用者が定員に満たないため、定員以下の人数設定としている。

課題・問題点

令和7年度 事務事業評価シート

No. 2

施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する					
事 業 名	肢体不自由児者通所訓練所運営支援事業費					
主管課	障害者福祉課				電話番号（内線）	3368
目 的	重度肢体不自由児（者）を対象とした障害福祉サービス「生活介護」事業を運営するNPO法人のぞみの安定したサービスの提供の確保を図る。 昼食費の一部を補助し、利用者の経済的負担を軽減する。					
対 象 者	事業所名：肢体不自由児者通所訓練所 法人名：NPO法人のぞみ 上記施設を利用する区民					
根拠法令 関連計画	墨田区重度障害者施設支援体制強化補助金交付要綱、墨田区障害者通所事業所等通所者昼食費助成事業補助金交付要綱、墨田区障害者日中活動系サービス推進事業補助金交付要綱、墨田区障害者通所事業送迎車両運行費補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2名	
事業内容	各補助要綱に沿って、運営費・人件費・送迎車両運行費・昼食費等の補助を実施する。					
経 過	開始年度	平成21年度			終了予定	
	平成20年度までは区単独補助による運営だったが、平成21年度から障害者自立支援法に基づく指定障害福祉サービス【生活介護】に移行した。 法内化により従来の支援職員体制が移行後の国基準により低下することのないよう、区独自の職員配置基準を定め、支援体制強化を支援している。					
議会質問 の 状 況	なし					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		43,534	43,176	41,416	43,827	43,753	46,222
A. 決算額（令和7年度は見込み）		39,936	39,645	40,197	43,253	43,025	46,222
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	11,110	5,520	5,520	7,181	7,904	8,002
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		28,826	34,125	34,677	36,072	35,121	38,220
執行率（％）		91.74％	91.82％	97.06％	98.69％	98.34％	100％
B. 人コスト		1,764	1,759	3,272	3,405	3,662	
総事業費（A+B）		41,700	41,404	43,469	46,658	46,687	
予算書P（令和7年度）		155-7		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	43,253	負担金補助及び交付金	43,025	負担金補助及び交付金	46,222
概 要		概 要		概 要	
補助金		補助金		補助金	

事業成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	年間延べ利用者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		5,500	令和7年度	目標	5,088	5,512	5,500	5,500
				実績	5,389	5,243	4,636	4,912
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
		実績	3,500	4,069	4,395	4,257	4,156	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		延べ利用者数は、一定水準の福祉サービスの提供が反映されていることの一つである。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	1日当たりの利用者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		20	令和7年度	目標	20	20	20	20
				実績	20	20	18	16
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	20	20	20	20	20	20
		実績	14	16	17	16	16	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		1日当たりの利用者数は、一定水準の福祉サービスの提供が反映されていることの一つである。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	最重度障害者が利用者の大半を占める事業所においては、人件費補助による支援体制強化が不可欠であるため継続の必要がある。

課題・問題点

令和 7 年度 補助金評価シート

No. 2

補助金名	墨田区障害者日中活動系サービス推進事業補助金		
主管課	障害者福祉課	電話番号（内線）	3368
根拠法令	墨田区障害者日中活動系サービス推進事業補助金交付要綱		
補助概要	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条に規定する障害福祉サービスを実施するために社会福祉法人、特定非営利活動法人、財団法人、社団法人、医療法人、学校法人又は宗教法人が墨田区内に設置する指定障害福祉サービス事業所の運営に要する費用の一部を予算の範囲内で補助する。区が実施した費用に対して、その費用全額を都が負担している。		
目的	障害福祉サービスを行う事業所について、運営に要する費用の一部を予算の範囲内で補助することにより、経営の安定化を図るとともに、サービス利用者の福祉の向上を図ることを目的とする。		
対象	事業所名：肢体不自由児者通所訓練所 法人名：NP0法人のぞみ		
基準	区独自基準		
補助条件	この補助金は、法人が墨田区内に設置し、かつ、適正な運営を行っている事業所であって、法第5条に規定する生活介護、自立訓練、就労移行支援又は就労継続支援のうち、いずれかの障害福祉サービスを行うもの（障害者支援施設を除く。）を交付の対象とする。		
経過	開始年度	平成23年度	終了予定
経過	平成23年度		
議会質問の状況			
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） R5年度から本補助金は、障害者施策推進区市町村包括補助事業から抜き出され、障害者日中活動系サービス推進事業となった。		

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		6,120	5,520	5,520	6,120	8,002	8,002
A. 決算額（令和7年度は見込み）		6,070	5,520	5,520	7,181	7,904	8,002
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	6,070	5,250	5,250	7,181	7,904	8,002
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	270	270	0	0	0
執行率（％）		99.18％	100％	100％	117.34％	98.78％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	年間延べ人数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		5,500	令和7年度	目標	5,088	5,512	5,500	5,500
				実績	5,389	5,243	4,636	4,912
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
		実績	3,500	4,069	4,395	4,257	4,156	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		延べ利用者数は、一定水準の福祉サービスの提供が反映されていることの一つである。対象事業者の合計値						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	1日当たりの利用数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		20	令和7年度	目標	20	20	20	20
				実績	20	20	18	18
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	20	20	20	20	20	20
		実績	14	16	17	16	16	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		1日当たりの利用者数は、一定水準の福祉サービスの提供が反映されていることの一つである。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	サービス利用者の福祉の向上のためには、経営の安定化が必要であるため継続の必要がある。 。

課題・問題点

令和 7 年度 補助金評価シート

No. 2

補助金名	墨田区障害者通所事業所送迎車両運行費補助金		
主管課	障害者福祉課	電話番号（内線）	3368
根拠法令	墨田区障害者通所事業所送迎車両運行費補助金交付要綱		
補助概要	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第1項に規定する障害福祉サービス事業を運営する事業者が、その運営する事業所の通所者の送迎を実施するに当たり、送迎車両の運行に係る経費を補助する。		
目的	通所者の移動手段を確保し、安定した日常生活及び社会生活の推進を図ることを目的とする。		
対象	事業所名：肢体不自由児者通所訓練所 法人名：NP0法人のぞみ		
基準	区独自基準		
補助条件	墨田区内において、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号）第5条第1項に規定する障害福祉サービス事業（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準（平成18年厚生労働省令第171号）第2条第16号に規定する多機能型を含む。）を運営する事業者が、その運営する事業所の通所者（墨田区に住所を有するもの又は援護の実施機関が墨田区であるものに限る。）の送迎を実施するに当たり、送迎車両の運行に係る経費を補助する。		
経過	開始年度	平成 2 1 年度	終了予定
	肢体不自由児者通所訓練所に通う利用者の送迎については平成 2 4 年度まで、区が事業主体となって送迎車両の借上げと添乗業務にかかる費用（年間約 2 9 0 0 万円）を全額負担して実施してきたが、平成 2 4 年度の国の報酬改定の見直しにおいて、生活介護事業における送迎加算の算定を可能としたため、送迎バスの運行の実施主体を法人のぞみに変更した。これにより添乗業務については報酬改定による収入増のため法人負担での実施が可能となったため、送迎バスを 2 台の借上げ費用相当額について補助を行うこととした。		
議会質問の状況			
その他特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
予算現額（令和 7 年度は当初予算）		25, 517	25, 614	25, 711	25, 788	25, 886	26, 395
A. 決算額（令和 7 年度は見込み）		22, 897	25, 517	24, 789	25, 788	25, 788	26, 395
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		22, 897	25, 517	24, 789	25, 788	25, 788	26, 395
執行率（％）		89. 73 %	99. 62 %	96. 41 %	100 %	99. 62 %	100 %

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	年間延べ人数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		5,500	令和7年度	目標	5,088	5,512	5,500	5,500
				実績	5,389	5,243	4,636	4,912
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
		実績	3,500	4,069	4,395	4,257	4,156	
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	延べ利用者数は、一定水準の福祉サービスの提供が反映されていることの一つである。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	1日当たりの利用数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		20	令和7年度	目標	20	20	20	20
				実績	20	20	18	18
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	20	20	20	20	20	20
		実績	14	16	17	16	16	
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	1日当たりの利用者数は、一定水準の福祉サービスの提供が反映されていることの一つである。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	通所者の移動手段を確保するためには、送迎バスの運行は不可欠であるため。

課題・問題点

令和 7 年度 補助金評価シート

No. 2

補助金名	墨田区障害者通所事業所等通所者昼食費助成事業補助金		
主管課	障害者福祉課	電話番号（内線）	3368
根拠法令	墨田区障害者通所事業所等通所者昼食費助成事業補助金交付要綱		
補助概要	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第7項、第12項から第14項までに規定する障害福祉サービス並びに同条第27項に規定する地域活動支援センター事業を実施する社会福祉法人等が、その運営する事業所等の通所者（墨田区に住所を有する者又は援護の実施機関が墨田区であるものに限る。）に対し昼食費を助成する場合において、その経費を補助する。		
目 的	通所者の昼食費の負担軽減を図ることを目的とする。		
対 象	事業所名：肢体不自由児者通所訓練所 法人名：NPO法人のぞみ		
基 準	区独自基準		
補助条件	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第7項、第12項から第14項までに規定する障害福祉サービス並びに同条第27項に規定する地域活動支援センター事業を実施する社会福祉法人等が、その運営する事業所等の通所者（墨田区に住所を有する者又は援護の実施機関が墨田区であるものに限る。）に対し昼食費を助成する場合において、その経費を補助する。 補助単価については、予算の範囲内で区長が定める。		
経 過	開始年度	平成 2 1 年度	終了予定
	平成 2 1 年度から補助を実施		
議会質問 の 状 況			
そ の 他 特記事項	（（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 従前から区の補助金を財源として運営してきた心身障害者通所訓練事業所（法外事業所）については、利用者に対する昼食費軽減費用を補助金に算入していた。しかし、それらの法外事業所が、障害者自立支援法に基づく法定施設に移行して、自主財源による運営に切り替わっていくため、それらの事業所に通う通所者に対し、引き続き昼食費補助のしくみを継続することによって、その負担を軽減させる必要があるため、要綱を制定した。		

予算・決算額推移（単位：千円）		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
予算現額（令和 7 年度は当初予算）		1,597	1,541	1,365	1,419	1,366	1,326
A. 決算額（令和 7 年度は見込み）		889	1,048	1,067	1,044	933	1,326
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		889	1,048	1,067	1,044	933	1,326
執行率（％）		55.67 %	68.01 %	78.17 %	73.57 %	68.3 %	100 %

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	年間延べ人数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		5,500	令和7年度	目標	5,088	5,512	5,500	5,500
				実績	5,389	5,243	4,636	4,912
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
		実績	3,500	4,069	4,395	4,257	4,156	
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	延べ利用者数は、一定水準の福祉サービスの提供が反映されていることの表れの一つであると思われ るため							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	1日当たりの利用数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		20	令和7年度	目標	20	20	20	20
				実績	20	20	18	19
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	20	20	20	20	20	20
		実績	14	16	17	16	16	
	指標の選定理由及び目標値の理由							
1日当たりの利用者数は、一定水準の福祉サービスの提供が反映されていることの表れの一つであ ると思われるため								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	障害者通所事業所等通所者の昼食費の負担軽減を図る

課題・問題点

令和 7 年度 補助金評価シート

No. 2

補助金名	墨田区重度障害者施設支援体制強化補助金		
主管課	障害者福祉課	電話番号（内線）	3368
根拠法令	墨田区重度障害者施設支援体制強化補助金交付要綱		
補助概要	生活介護を行う社会福祉法人等が、法令等に規定する人員基準に加えてサービス提供に必要な職員を配置する場合において、その経費の一部を補助する。		
目 的	生活介護事業を行う事業所の安定化を支援し、もって障害者福祉の向上を図ることを目的とする。		
対 象	事業所名：肢体不自由児者通所訓練所 法人名：NP0法人のぞみ		
基 準	区独自基準		
補助条件	当該年度の4月1日に在籍する利用者（墨田区重症心身障害児（者）通所支援事業実施要綱（平成24年10月15日24墨福障第1227号）による通所支援費の支給を受ける利用者を除く。）の前年度通所実績値（前年度の利用実績がない新規通所者については、1月当たり23日を上限として利用が見込まれる日数とする。）を用いて、基準職員配置数を算出し、加配している職員分について補助する。		
経 過	開始年度	平成21年度	終了予定
	NP0法人のぞみの運営する肢体不自由児者通所訓練所は、平成20年度までは区単独補助による運営だったが、平成21年度から障害者自立支援法に基づく指定障害福祉サービス【生活介護】に移行した。法内化により従来の支援職員体制が移行後の国基準により低下することのないよう、区独自の職員配置基準を定め、支援体制強化を支援している。 令和2年度で、都の包括補助事業のうち、重度障害者施設支援体制強化補助金が終了となった。		
議会質問の状況			
その他特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		12,180	12,180	12,180	10,500	8,400	10,500
A. 決算額（令和7年度は見込み）		10,080	9,240	10,080	9,240	8,400	10,500
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	5,040	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		5,040	9,240	10,080	9,240	8,400	10,500
執行率（％）		82.8％	75.9％	82.8％	88％	100％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	年間延べ人数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		5,500	令和7年度	目標	5,088	5,512	5,500	5,500
				実績	5,389	5,243	4,636	4,912
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
		実績	3,500	4,069	4,395	4,257	4,156	
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	延べ利用者数は、一定水準の福祉サービスの提供が反映されていることの一つである。							
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	1日当たりの利用数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		20	令和7年度	目標	20	20	20	20
				実績	20	20	18	16
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	20	20	20	20	20	20
		実績	14	16	17	16	16	
	指標の選定理由及び目標値の理由							
1日当たりの利用者数は、一定水準の福祉サービスの提供が反映されていることの一つである。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	最重度障害者が利用者のお大半を占める事業所においては、人件費補助による支援体制強化が不可欠であるため、補助を継続していく必要がある。

課題・問題点

令和7年度 事務事業評価シート

No. 3

施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する					
事 業 名	障害者による公園等美化活動支援事業費（障害者福祉課）					
主管課	障害者福祉課				電話番号（内線）	3362
目 的	・福祉的就労の場を確保し、福祉作業所に安定的・継続的な作業を創出することで、工賃の向上を図るとともに、障害者の社会参加の促進及び作業を通じた地域住民との交流を図る。 ・緑の創出及び保全、区民に対する緑化推進の啓発を図る。					
対 象 者	墨田区内の就労系障害者施設に通所する障害者					
根拠法令 関連計画	・工賃向上計画支援実施事業要綱（平成24年度・国要綱） ・東京都工賃向上計画 ・墨田区障害者行動計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	ふれあいセンター、社会福祉法人墨田さんさん会	
事業内容	以下の区立公園等での作業を就労系障害者通所事業所に委託する。 ・錦糸公園内のゴミ箱付近の清掃及びゴミの分別 ・江東橋下の清掃 ・雑草除去作業、花壇の維持管理作業 ・区立公園の花壇などの緑の創出と保全業務 ・緑化推進の啓発					
経 過	開始年度	平成13年度			終了予定	
	・公園等の清掃については、平成12年度にモデル事業を行い、平成13年度より事業開始。 平成27年度より従来の錦糸公園清掃業務に加え、区立公園等の雑草除去業務及び花壇維持管理業務を行っている。 ・公園等の緑化については、平成21年度より3作業所で事業開始。 平成22年度からは6作業所に拡充し実施。 平成27年度末のすみだ厚生会館の廃止で5作業所となる。 平成30年度末の墨田福祉作業所の廃止及び平成31年度の民間1事業所の新設により、現在5事業所で実施している。 令和3年度より「障害者による地域緑化推進事業」と「障害者就労支援事業」を類似事業のため統合。					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	年間を通して実施（委託）					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		25,908	25,789	25,616	25,656	25,764	28,343
A. 決算額（令和7年度は見込み）		25,906	25,778	25,616	25,656	25,764	0
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	5,106	5,047	4,961	4,980	5,034	5,121
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		20,800	20,731	20,655	20,676	20,730	23,222
執行率（％）		99.99％	99.96％	100％	100％	100％	－％
B. 人コスト		1,764	1,759	1,636	1,702	1,831	
総事業費（A+B）		27,670	27,537	27,252	27,358	27,595	
予算書P（令和7年度）		153-27		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
役務費	13,616	役務費	13,697	役務費	14,404
委託料	12,040	委託料	12,067	委託料	13,939
概 要		概 要		概 要	
役務費：清掃等 委託費：花壇維持等		役務費：清掃等 委託費：花壇維持等		役務費：清掃等 委託費：花壇維持等	

事業の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	緑化事業の実施設数				単 位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		5	平成7年度	目標	5	5	5	5
				実績	5	5	5	5
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5	5	5	5	5	5
		実績	5	5	5	5	5	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		福祉的就労の場の拡充により、障害者の社会参加促進を図ることが出来る。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	1人当たりの平均工賃月額				単 位	千円
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		12	令和7年度	目標	12	12	12	12
				実績	12	12	12	12
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	12	12	12	12	12	12
		実績	12	12	12	12	12	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		工賃の向上により、充実した生活・生きがいを図ることが出来る。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	障害者の福祉的就労の場を確保、工賃向上のため、今後も継続していく。

課題・問題点
事業の円滑な実施のため、引き続き区立公園等の所管課との情報共有と連携に努めていく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 4

施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する					
事 業 名	心身障害者団体事業助成費					
主管課	障害者福祉課				電話番号（内線）	3368
目 的	墨田区障害者団体連合会の運営及び自主活動事業への補助を行うことで、体制が強化され、それにより社会参加しやすい環境が作られ、生きがいにつながるなど障害者福祉の向上を図る。					
対 象 者	墨田区障害者団体連合会					
根拠法令 関連計画	墨田区障害者団体連合会補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2名	
事業内容	区内唯一の障害者団体の連合体である墨田区障害者団体連合会への運営及び自主活動事業への補助を行う。 区内の障害児及び障害者の福祉の増進と地域交流を図るため、墨田区障害者団体連合会に対して、障害者の地域交流施設 「ひろば」の管理運営費を補助する。					
経 過	開始年度	昭和48年度			終了予定	
	補助金開始：昭和48年度から R2年度で都の補助が終了した。					
議会質問 の 状 況	[平成23年決特] 補助金額について					
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		12,972	16,745	21,029	20,337	20,228	20,545
A. 決算額（令和7年度は見込み）		11,987	16,452	18,728	20,046	20,019	20,545
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		11,987	16,452	18,728	20,046	20,019	20,065
執行率（％）		92.41％	98.25％	89.06％	98.57％	98.97％	100％
B. 人コスト		3,529	3,518	3,272	3,405	3,662	
総事業費（A+B）		15,516	19,970	22,000	23,451	23,681	
予算書P（令和7年度）		152-20,21		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	20,046	負担金補助及び交付金	20,019	負担金補助及び交付金	20,545
概 要		概 要		概 要	
補助金		補助金		補助金	

事業成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	所属部会数				単位	部会
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		6	令和7年度	目標	6	6	6	6
				実績	6	6	6	6
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	6	6	6	6	6	6
		実績	6	6	6	6	6	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		連合会を構成する各障害者部会の活動の活発化を支援するため、所属部会の数を指標とした。						
事業成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	会員数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		428	令和7年度	目標	420	420	420	425
				実績	417	388	387	356
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	425	425	428	428	428	428
		実績	348	342	314	296	283	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		加入人数の増加が、事業成果や認知度の向上を示すため。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	連合会の運営が安定的になり、地域交流事業が活発化している。 引き続き連合会との情報共有に努める。

課題・問題点

令和 7 年度 補助金評価シート

No. 4

補助金名	墨田区障害者団体連合会補助金		
主管課	障害者福祉課	電話番号（内線）	3368
根拠法令	墨田区障害者団体連合会補助金交付要綱		
補助概要	墨田区障害者団体連合会の運営費等について補助を実施する。		
目 的	墨田区障害者団体連合会の運営及び自主活動事業への補助を通じ障害者福祉の向上を図る。		
対 象	墨田区障害者団体連合会		
基 準	区独自基準		
補助条件	連合会の運営に必要な経費及び連合会が主催する心身障害者のためのレクリエーション活動、社会適応訓練事業、地域交流行事及び区長が特に必要と認める事業に支出する。 連合会に対して、心身障害者交流・訓練スペース「ひろば」の運営費を支出する。		
経 過	開始年度	昭和 4 8 年度	終了予定
	補助金開始：昭和 4 8 年度から R2年度で都の補助が終了した。		
議会質問 の 状 況	[平成23年決特] 補助金額について		
そ の 他 特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
予算現額（令和 7 年度は当初予算）		12, 972	16, 745	21, 029	20, 337	20, 228	20, 545
A. 決算額（令和 7 年度は見込み）		11, 987	16, 452	18, 782	20, 046	20, 019	20, 545
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	5, 993	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		5, 994	16, 452	18, 782	20, 046	20, 019	20, 065
執行率（％）		92. 41 %	98. 25 %	89. 31 %	98. 57 %	98. 97 %	100 %

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	所属部会数				単 位	部会
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		6	令和 7 年度	目標	6	6	6	6
				実績	6	6	6	6
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	6	6	6	6	6	6
		実績	6	6	6	6	6	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		連合会を構成する各障害者部会の活動の活発化を支援するため、所属部会の数を指標とした。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	会員数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		428	令和 7 年度	目標	420	420	420	425
				実績	417	388	387	356
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	425	425	428	428	428	428
		実績	348	342	314	296	283	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		加入人数の増加が、事業成果や認知度の向上を示すため。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	連合会の運営が安定的になり、地域交流事業が活発化している。 引き続き連合会との情報共有に努める。

課題・問題点

令和7年度 事務事業評価シート

No. 5

施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する				
事 業 名	亀沢のぞみの家管理運営費				
主管課	障害者福祉課	電話番号（内線）	3368		
目 的	障害福祉サービスの提供を行っている「亀沢のぞみの家」の維持管理を行うことで、障害者の自立と社会参加の促進を図る。				
対 象 者	亀沢のぞみの家				
根拠法令 関連計画	墨田区心身障害者通所訓練所条例				
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2名
事業内容	・光熱水費の支出、各種保守委託、清掃委託、工事委託等				
経 過	開始年度	昭和52年度		終了予定	
	昭和53年12月 「亀沢のぞみの家」設立 昭和57年12月 「緑のぞみの家」設立 平成3年4月 両のぞみの家を統合し、「亀沢のぞみの家」設立 令和5年2月～8月 亀沢のぞみの家の長期計画修繕実施 令和5年12月 上記修繕工事完了後に、工事使用期間に使用した光熱水費（電気・水道料）を業者に徴収した。				
議会質問 の 状 況	【令和3年度決算特別委員会】長期計画修繕の今後の見通しについて				
そ の 他 特記事項					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		7,964	7,753	104,907	153,888	11,826	10,475
A. 決算額（令和7年度は見込み）		7,536	7,743	84,926	129,703	10,214	10,475
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	90	114	114	608	32	114
一般財源		7,446	7,629	84,812	129,095	10,182	10,361
執行率（％）		94.63％	99.87％	80.95％	84.28％	86.37％	100％
B. 人コスト		1,764	3,518	3,272	3,405	3,662	
総事業費（A+B）		9,300	11,261	88,198	133,108	13,876	
予算書P（令和7年度）		156-2		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
工事請負費	120,394	需用費	3,673	需用費	4,776
需用費	4,631	役務費	2,994	役務費	3,636
役務費	2,567	委託料	2,894	委託料	1,937
委託料	2,031	工事請負費	529	使用料及び賃借料	126
使用料及び賃借料	80	使用料及び賃借料	126		
概 要		概 要		概 要	
光熱水費・消耗品費 電話料・清掃委託 各種保守 コピー機の借上 工事費		光熱水費・消耗品費 電話料・清掃委託 各種保守 コピー機の借上、防犯カメラの借上 工事費		光熱水費・消耗品費 電話料・清掃委託 各種保守 コピー機の借上、防犯カメラの借上	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	年間延べ利用者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		5,500	令和7年度	目標	5,088	5,512	5,500	5,500
				実績	5,839	5,243	4,636	4,912
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
		実績	3,500	4,069	4,395	4,257	4,156	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		延べ利用者数は、福祉サービスの提供の確保が反映されていることの表れの一つであると思われるため。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	1日当たりの利用者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		20	令和7年度	目標	20	20	20	20
				実績	20	20	18	18
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	20	20	20	20	20	20
		実績	14	16	17	16	16	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		適切な維持管理の成果が反映されていることの表れの一つであると思われるため。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	障害福祉サービスの提供を継続的に行うためには、建物の補修等も含め、維持管理が必要である。

課題・問題点

令和7年度 事務事業評価シート

No. 6

施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する		
事 業 名	地域生活促進事業（重度障害者大学等修学支援事業）		
主管課	障害者福祉課	電話番号（内線）	3365
目 的	重度障害者が修学するために必要な支援体制を大学等が構築できるまでの間において、重度障害者に対して修学に必要な身体介護等を提供し、障害者の社会参加を促進する。		
対 象 者	障害者総合支援法に規定する重度訪問介護を利用している者又は準ずる者で、大学等で修学する者		
根拠法令 関連計画	地域生活支援促進事業実施要綱 墨田区重度障害者大学等修学支援事業		
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 常勤1 委託先：居宅介護事所等
事業内容	大学等への通学及び敷地内における身体介護（移動支援、食事介助、排泄介助等）を提供し、障害者の社会参加を促進をする。 ①支援費：30分あたり1,135円 ②利用者負担額：生活保護・非課税：0円／課税世帯：所得に応じて負担額を設定する。 ③補助金：地域生活支援事業費等補助金の補助対象である。（国補助 1/2 都補助 1/2）		
経 過	開始年度	令和5年度	終了予定
	令和5年4月 事業開始		
議会質問 の 状 況	なし		
そ の 他 特記事項	なし		

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		0	0	0	2,850	5,407	3,723
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	0	0	1,983	1,516	3,723
財 源	国	0	0	0	991	757	1,862
	都	0	0	0	496	378	931
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	496	381	930
執行率（％）		- ％	- ％	- ％	69.58 ％	28.04 ％	100 ％
B. 人コスト		0	0	0	8,512	9,154	
総事業費（A+B）		0	0	0	10,495	10,670	
予算書P（令和7年度）		153 - 29		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
扶助費	1,983	扶助費	1,516	扶助費	3,723
概 要		概 要		概 要	
身体介護等に要する費用		身体介護等に要する費用		身体介護等に要する費用	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	入学者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		1	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	—	1	1	1
		実績	—	—	—	1	1	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		特別支援学校と連携し、希望する進路に進めるよう障害のある学生を支援する。（3か年のうち進学の可能性のある者は1名のみ）						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	卒業生数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		1	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	—	0	0	0
		実績	—	—	—	0	0	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		大学等と連携し、障害のある学生の就学を支援する。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	引き続き重度障害者の修学支援をととして、社会参加の促進に寄与する。

課題・問題点

令和7年度 事務事業評価シート

No. 7

施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する					
事 業 名	地域生活支援推進事業（重度障害者等就労支援事業）					
主管課	障害者福祉課				電話番号（内線）	3 3 6 6
目 的	重度障害者等に対する就労支援として、雇用施策と福祉施策が連携し障害者がより働きやすい社会を実現する。					
対 象 者	重度訪問介護、行動援護、同行援護のいずれかの福祉サービスを利用している者、かつ1週間の所定労働時間が10時間以上の者。					
根拠法令 関連計画	地域生活支援促進事業実施要綱 墨田区重度障害者等就労支援事業実施要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤1、委託先：居宅介護事所等	
事業内容	重度障害者等の通勤や職場等における支援について、企業が障害者雇用納付金制度に基づく助成金（雇用施策）を活用しても支障が残る場合や、重度障害者等が自営業者として働く場合等で区が必要と認めた場合に支援する。 利用者負担額：原則1割（障害者総合支援法に準ずる） 補助金：地域生活支援事業費等補助金の補助対象（国補助1/2、都補助1/4）					
経 過	開始年度	令和5年度			終了予定	
	令和6年3月 事業開始					
議会議決 の 状 況	なし					
そ の 他 特記事項	なし					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		0	0	0	1,256	3,025	5,155
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	0	0	0	0	5,155
財 源	国	0	0	0	0	0	2,576
	都	0	0	0	0	0	1,289
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	0	1,290
執行率（％）		- ％	- ％	- ％	- ％	- ％	100 ％
B. 人コスト		0	0	0	0	9,154	
総事業費（A+B）		0	0	0	0	9,154	
予算書P（令和7年度）		153-29		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
				扶助費	5,155
概 要		概 要		概 要	
扶助費：実績なし		扶助費：実績なし		利用予定者数3人	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	利用者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		3	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	—	1	2	3
		実績	—	—	—	0	0	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		雇用施策と連携し、就労する重度障害者等を支援する。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	就労継続者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		3	令和7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	—	1	2	3
		実績	—	—	—	0	0	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		引き続きサービスを利用することで、障害者が安心して働き続けることができる社会を実現する。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	事業の周知に努め、継続していくことで重度障害者等の就労機会の拡大に寄与する。

課題・問題点
利用者の身体状況、就労形態によって支援内容や利用時間数に変動するため、予算の算定が難しい。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 8

施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する					
事 業 名	心身障害者自立支援助成費					
主管課	障害者福祉課				電話番号（内線）	3362
目 的	障害者が従事する福祉喫茶の運営費の一部補助を通じ、障害者の就労機会を確保することで、経済的自立を支援する。また、来店する地域住民とのかかわりから、ノーマライゼーションの実現を推進する。					
対 象 者	福祉喫茶運営団体					
根拠法令 関連計画	墨田区障害者福祉喫茶運営補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2	
事業内容	福祉喫茶事業の運営経費の一部補助 対象店舗：「それいゆさんさん」（東向島2-38-7 生涯学習センター1階）					
経 過	開始年度	平成9年度			終了予定	
	平成9年4月 事業開始 「ともだち」（運営主体：墨田区障害者団体連合会）開店。 平成12年4月 「ともだちⅡ」（運営主体：墨田区障害者団体連合会）開店。 平成14年1月 「それいゆさんさん」（運営主体：墨田区手をつなぐ親の会）開店。 平成19年4月 「ともだち」「ともだちⅡ」の運営主体が特定非営利活動法人のぞみとなる。 平成24年12月 「ともだちⅡ」事業廃止。 平成30年3月 「ともだち」事業廃止。 令和3年4月 都の補助廃止。					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		6,543	6,493	6,592	6,592	6,592	6,592
A. 決算額（令和7年度は見込み）		5,592	3,174	5,242	5,610	5,037	6,592
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	1,587	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		4,005	3,174	5,242	5,610	5,037	6,592
執行率（％）		85.47％	48.88％	79.52％	85.1％	76.41％	100％
B. 人コスト		1,764	1,759	1,636	1,702	1,831	
総事業費（A+B）		7,356	4,933	6,878	7,312	6,868	
予算書P（令和7年度）		P153-22		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	5,610	負担金補助及び交付金	5,037	負担金補助及び交付金	6,592
概 要		概 要		概 要	
補助金		補助金		補助金	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	来客者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		15,000	令和7年度	目標	25,000	25,000	25,000	15,000
				実績	25,232	20,931	14,145	14,638
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
		実績	6,480	8,261	10,584	11,752	12,064	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		来客者数の維持は、従事者のコミュニケーション能力と就労スキルの向上につながるため、これを指標とした。店舗数が2か所から1か所に減少したため、目標値を下方修正した。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	雇用障害者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		3	令和7年度	目標	5	5	5	3
				実績	5	5	5	3
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	3	3	3	3
		実績	3	3	3	3	2	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		福祉喫茶での就労は、接客を通じた交流によりノーマライゼーションの実現につながるため、これを指標とした。店舗数が2か所から1か所に減少したため、目標値を下方修正した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	障害のある方の就労機会を確保するために今後も必要である。

課題・問題点
障害者の就労機会の提供や自立促進を支援するという観点から、引き続き関係事業所等との情報共有を図っていく必要がある。

令和7年度 補助金評価シート

No. 8

補助金名	障害者福祉喫茶の運営費補助		
主管課	障害者福祉課	電話番号（内線）	3362
根拠法令	墨田区障害者福祉喫茶運営補助金交付要綱		
補助概要	福祉喫茶における人件費及び光熱水費の一部補助を行う。人件費については、喫茶に從事する障害者に対する調理主任の指導時間を基準とする。また、光熱水費についてはその1/2を補助する。		
目的	障害者が従事する福祉喫茶の運営費の一部補助を通じ、障害者の就労機会を確保することで、経済的自立を支援する。また、来店する地域住民とのかかわりから、ノーマライゼーションの実現を推進する。		
対象	福祉喫茶運営団体		
基準	区独自基準		
補助条件	地域住民等の憩いの場として地域交流の機能を備え、かつ障害者が就業している喫茶店であること。補助対象経費は、従事する障害者に対し、調理主任が指導を行う時間を基準とする人件費と、喫茶運営にかかる光熱水費の1/2の額とする。		
経過	開始年度	平成9年度	終了予定
	平成9年4月 事業開始 「ともだち」（運営主体：墨田区障害者団体連合会）開店。 平成12年4月 「ともだちⅡ」（運営主体：墨田区障害者団体連合会）開店。 平成14年1月 「それいゆさんさん」（運営主体：墨田区手をつなぐ親の会）開店。 平成19年4月 「ともだち」「ともだちⅡ」の運営主体が特定非営利活動法人のぞみとなる。 平成24年12月 「ともだちⅡ」事業廃止。 平成30年3月 「ともだち」事業廃止。		
議会質問の状況			
その他特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		6,543	6,493	6,592	6,592	6,592	6,592
A. 決算額（令和7年度は見込み）		3,174	5,242	5,652	5,610	5,037	6,592
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	0	0
執行率（％）		48.51％	80.73％	85.74％	85.1％	76.41％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	来場者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		15000	令和 7 年度	目標	25,000	25,000	25,000	15,000
				実績	25,232	20,931	14,145	14,638
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
		実績	6,480	8,261	10,584	11,752	12,704	
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指標の選定理由及び目標値の理由						
		来客者数の維持は、従事者のコミュニケーション能力と就労スキルの向上につながるため、これを事業の指標とした。店舗数が2か所から1か所に減少したため、目標値を下方修正した。						
		指 標	雇用障害者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		5	令和 7 年度	目標	5	5	5	3
				実績	5	5	5	3
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	5	5	5	5
		実績	3	3	3	3	2	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		福祉喫茶での就労は、接客を通じた交流によりノーマライゼーションの実現につながるため、これを指標とした。店舗数が2か所から1か所に減少したため、目標値を下方修正した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	障害のある方の就労機会を確保するために今後も必要である。

課題・問題点
障害者の就労機会の提供や自立促進を支援するという観点から、引き続き関係事業所等との情報共有を図っていく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 9

施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する					
事 業 名	障害者理解啓発事業費					
主管課	障害者福祉課				電話番号（内線）	3362
目 的	障害者福祉に対する理解を深め、障害の有無に関わらず、誰もが人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を目指して啓発を行う。また、各イベントを通して、障害のある方に社会参加の機会を提供する。					
対 象 者	【障害者差別解消法普及啓発】区民、区内事業者、区職員【ふれあいバザー】区民及び一般来場者 【花火】区内在住で障害のある方及び介助者					
根拠法令 関連計画	障害を理由とする差別の解消の促進に関する法律（障害者差別解消法） 墨田区職員の障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領 墨田区手話言語及び障害者の意思疎通に関する条例、障害者行動計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤2、委託先：（株）アド補助	
事業内容	【障害者差別解消法普及啓発】障害者差別解消法、墨田区手話言語及び障害者の意思疎通に関する条例について、区報・区ホームページ等での情報発信、研修などにより啓発を行う。令和2年度以降は心のバリアフリー事業を実施し、啓発冊子の配布等を行っている。 【ふれあいバザー】すみだまつり（会場：錦糸公園）において、自主生産品の販売や手作りボードによる作業風景の展示を通じて障害者団体の活動について広く区民にアピールする。 【花火】桜橋デッキスクウェアに障害者特別観覧席を設け、墨田区障害者団体連合会会員及び一般申込者を招待する。会場には、医師・看護師・手話通訳者を待機させる。例年定員を上回る応募があり、抽選で参加者を決定している。					
経 過	開始年度	昭和56年度			終了予定	
	【障害者差別解消法普及啓発】 平成28年4月 「障害者差別解消法」施行 平成31年4月 「墨田区手話言語及び障害者の意思疎通に関する条例」施行 【ふれあいバザー】 昭和56年から事業実施。平成22年～24年は公園改修の影響で体育館内で実施した。令和2～4年度はすみだまつりが開催中止となったため、本事業も中止となった。令和5年度から再開。 【花火】 平成4年から事業実施。令和2～4年度は隅田川花火大会が開催中止となったため、本事業も実績なし。 令和5年度から再開。					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 【ふれあいバザー・花火】 関連部署：文化芸術振興課					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		2,767	2,501	1,089	1,180	3,857	1,415
A. 決算額（令和7年度は見込み）		2,094	1,792	520	1,052	2,743	1,415
財 源	国	203	117	67	318	407	106
	都	851	773	118	167	1,182	53
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		1,040	902	335	567	1,154	1,256
執行率（％）		75.68％	71.65％	47.75％	89.15％	71.12％	100％
B. 人コスト		3,529	3,518	3,272	3,405	3,662	
総事業費（A+B）		5,623	5,310	3,792	4,457	6,405	
予算書P（令和7年度）		P153-24		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	676	委託料	1,903	委託料	927
需用費	285	需用費	752	需用費	326
報償費	80	報償費	83	報償費	93
役務費	11	役務費	5	役務費	69
概 要		概 要		概 要	
医師謝礼等 消耗品等 郵送料等 会場設営費等		医師謝礼等 消耗品等 郵送料等 会場設営費等		医師謝礼等 消耗品等 郵送料等 会場設営費等	

事業の 成果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	障害者差別解消法にかかる区報掲載数				単 位	件
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		12	令和7年度	目標	4	4	4	12
				実績	4	9	4	13
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	12	12	12	12	12	12
		実績	13	13	12	13	13	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		障害への理解を深めていくためには、広く区民に周知することが必要である。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	【花火】参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		250	令和7年度	目標	250	250	250	250
				実績	263	256	202	247
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	250	250	250	250	250	250
		実績	0	0	0	218	219	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		現状の開催方法で、参加者の安全を確保できる数値である。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	障害者差別解消法の普及啓発のため、心のバリアフリー事業を通じて幅広い層への周知を行う。ふれあいバザーは参加団体の工賃向上や活動費用充実に有効である。花火大会では、混雑や立ち止まるとの観覧が禁止されているため、障害のある方に配慮した安全な観覧席の確保が重要である。

課題・問題点
令和4年に施行された「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」に基づき、全ての障害者が必要な情報を取得・利用し、円滑に意思疎通を図れるよう、区の窓口での手話通訳体制等を整備する必要がある。令和4年度以降、本事業に障害者差別解消法普及啓発等事業を統合した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2～4年度は事業が中止され、ふれあいバザー・花火分の経費執行はなかった。令和5年度から事業を再開している。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 10

施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する					
事 業 名	すみだスマイル・フェスティバル事業費					
主管課	障害者福祉課				電話番号（内線）	3362
目 的	障害者団体等の相互の親睦を深めること、また区民及び一般来場者へ向け、障害者福祉とノーマライゼーション理念の普及を目的として、障害者週間（12月3日～9日）に合わせて開催する。					
対 象 者	区民及び一般来場者					
根拠法令 関連計画	障害者基本法（昭和45年法律第84号）					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤4、委託先：障害者団体等	
事業内容	12月の障害者週間に「すみだスマイル・フェスティバル」を実施 ・補助犬PRコーナー、障害者スポーツ体験、舞台発表、パネル展示等（場所：すみだリーバースайдホール）					
経 過	開始年度	平成26年度			終了予定	
	平成26年度より、障害者福祉大会と、ふれあいフェスティバルを統合して実施している。					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		0	36	1,427	1,580	1,631	2,265
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	32	1,180	1,482	1,505	2,265
財 源	国	0	10	364	438	418	580
	都	0	5	182	219	209	290
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	17	634	825	878	1,395
執行率（％）		－％	88.89％	82.69％	93.8％	92.27％	100％
B. 人コスト		4,411	4,398	4,090	4,256	4,577	
総事業費（A+B）		4,411	4,430	5,270	5,738	6,082	
予算書P（令和7年度）		P155-13		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和５年度（決算）		令和６年度（決算）		令和７年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	1,113	委託料	1,156	委託料	1,000
需用費	332	需用費	319	需用費	699
役務費	23	役務費	24	使用料及び賃借料	470
報償費	14	報償費	7	役務費	66
				旅費	30
概 要		概 要		概 要	
ボランティア手当等、印刷費等 郵送料等、会場設営費等、会場使用料等		ボランティア手当等、印刷費等 郵送料等、会場設営費等、会場使用料等		ボランティア手当等、印刷費等 郵送料等、会場設営費等、会場使用料等	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	障害のある方の参加人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		450	令和７年度	目標	400	400	450	450
				実績	460	440	470	500
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	450	450	450	450	450	450
		実績	0	100	350	400	400	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		障害のある方自身が参加者となることによって、社会参加を促すことにつながる。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	来場者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		1,300	令和７年度	目標	1,000	1,000	1,000	1,200
				実績	1,600	1,400	1,200	1,250
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,200	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
		実績	0	350	550	650	600	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		より多くの方に来場していただくことによって、障害者福祉の啓発と障害者団体のPRにつながる。R2以降、感染症対策の影響でホールで行う発表会が中止となり、実績が少なくなっている。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	ボランティアや障害者団体の協力により、コストカットや地域社会の連携につながっている。 また、来場者アンケートによると満足度も高い。

課題・問題点
障害者施設の利用者や障害者団体の関係者以外の一般区民の参加が比較的に少ないことが課題である。感染症対策として会場での飲食ブースの設置は２年度以降実施してしていない。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 11

施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する					
事 業 名	障害者虐待防止センター事業費					
主管課	障害者福祉課				電話番号（内線）	4374
目 的	障害者虐待に対する相談・通報受理、調査、障害者の保護、啓発等を実施し、障害者への虐待防止を図る。					
対 象 者	虐待を受けたと思われる障害者を発見した方、虐待を受けた障害のある方					
根拠法令 関連計画	障害者の虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律					
実施基準	法令基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤3 委託：(医)はるたか会、ALSOKあんしんケアサポート(株)	
事業内容	虐待に関する通報又は届出の受理及び障害者虐待を受けた障害者の相談・保護等の支援 令和6年4月から、3施設で実施してきた本事業を、障害者基幹相談支援センターの開設により、知的・身体・精神（難病含む）の3障害に対する虐待対応を統合する。					
経 過	開始年度	平成24年度			終了予定	
	1 墨田区障害者虐待防止センターを設置（平成24年10月） 2 墨田区24時間障害者虐待通報ダイヤルを開設 3 障害者虐待防止ネットワークを構築 4 障害者基幹相談支援センターに事業を統合（令和6年4月）					
議会質問 の 状 況	令和6年3月（予算特別委員会） 障害者基幹相談支援センターの役割について 令和7年3月（予算特別委員会） 障害者虐待防止法の実施について					
そ の 他 特記事項	令和6年度より、障害者虐待防止センター経費を障害者基幹相談支援センター事業費に統合した。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		2,855	2,844	2,841	2,841	2,818	3,096
A. 決算額（令和7年度は見込み）		2,000	1,989	1,992	2,006	1,973	3,096
財 源	国	1,000	994	995	1,002	986	1,529
	都	500	497	497	501	493	764
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		500	498	500	503	494	803
執行率（％）		70.05％	69.94％	70.12％	70.61％	70.01％	100％
B. 人コスト		2,647	2,639	2,454	2,554	2,746	
総事業費（A+B）		4,647	4,628	4,446	4,560	4,719	
予算書P（令和7年度）		153-30		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	1,924	委託料	1,923	委託料	2,606
役務費	46	役務費	47	使用料及び賃借料	262
需用費	27	旅費	3	役務費	85
旅費	9			需用費	53
				旅費	40
概 要		概 要		概 要	
虐待通報ダイヤル業務委託 虐待通報専用ダイヤル電話料 テレホンスタンド等購入費		虐待通報ダイヤル業務委託 虐待通報専用ダイヤル電話料		虐待通報ダイヤル業務委託 緊急保護委託 緊急移送用タクシー借上 虐待通報専用ダイヤル電話料	

事業の 成果	手段に 対する指標 （活動指標）	指標	広報、啓発活動の実施（区報掲載、パンフレット配布）				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年（H28）	H29	H30	H31
		2	令和7年度	目標	2	2	2	2
				実績	2	2	2	2
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	2	2	2	2	2
		実績	2	2	2	2	2	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区報掲載やパンフレットの配布により、障害者本人、家族、区民へ通知ができ、虐待の防止や相談等につなげる。						
事業の 成果	目的に 対する指標 （成果指標）	指標	虐待認定件数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年（H28）	H29	H30	H31
		0	令和7年度	目標	4	4	4	3
				実績	2	2	3	3
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	2	2	1	1	0
		実績	1	2	4	4	14	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		被虐待障害者の保護・相談等の支援を行い、擁護をはかる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	障害者虐待防止法の主旨に則り、継続して実施する。 令和6年度から障害者基幹相談支援センターの事業とする。

課題・問題点
障害者虐待防止センター事業を一部委託で実施しているが、今後委託内容を段階的に拡充して機能を向上する必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 12

施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する				
事 業 名	医療的ケア児等支援事業費				
主管課	障害者福祉課	電話番号（内線）	3077		
目 的	個々の医療的ケア児の健やかな成長や介護者の離職防止を図り、安心して子どもを産み育てることができるよう心身の状況等に応じた適切な支援体制を整備する。				
対 象 者	医療的ケア児とその保護者				
根拠法令 関連計画	医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律（令和3年9月） 医療的ケア児等総合支援事業実施要綱（国） 墨田区障害福祉総合計画				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2
事業内容	医療的ケア児に関する協議会、医療的ケア児に関する庁内連携会議の開催、医療的ケア児者支援スキルアップ研修の実施、計画策定前業務支援の実施				
経 過	開始年度	令和6年度		終了予定	
	平成28年～ 29年保育所・幼稚園等における医療的ケア児の受け入れに関する検討会（子育て支援課） 平成30年～ 医療的ケア児に関する協議会（以降、障害者福祉課事務局） 平成31年度～医療的ケア児に関する庁内連携会議 令和6年度 墨田区医療的ケア児等コーディネーター支援体制整備促進に関する要綱の制定 令和6年度～ 医療的ケア児者支援スキルアップ研修実施 令和6年度～ 計画策定前業務支援補助金交付開始				
議会質問 の 状 況					
そ の 他 特記事項	医療的ケア児協議会謝礼は、5年度まで心身障害者福祉事業の施行事務として予算措置していたが、6年度から本事業を新設し、新規事業の研修の実施、計画策定前業務支援と合わせて計上した。				

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		0	0	0	0	883	900
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	0	0	0	356	0
財 源	国	0	0	0	0	178	537
	都	0	0	0	0	89	268
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	89	95
執行率（％）		- ％	- ％	- ％	- ％	40.32 ％	- ％
B. 人コスト		0	0	0	0	3,662	
総事業費（A+B）		0	0	0	0	4,018	
予算書P（令和7年度）		P153-31		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
		委託料	297	委託料	420
		報償費	45	報償費	288
		負担金補助及び交付金	14	負担金補助及び交付金	192
概 要		概 要		概 要	
		・医療的ケア児に関する協議会開催に伴う報償金 ・医療的ケア児者支援スキルアップ研修委託料 ・医療的ケア児等コーディネーター支援体制整備促進事業		・医療的ケア児に関する協議会開催に伴う報償金 ・医療的ケア児者支援スキルアップ研修委託料 ・医療的ケア児等コーディネーター支援体制整備促進事業	

事業の成果	手段に対する指標（活動指標）	指標	医療的ケア児者支援スキルアップ研修参加人数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年（H28）	H29	H30	H31
		30	平成7年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	—	—	30	30
		実績	—	—	—	—	35	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		医療的ケア児者に関わる方のスキルアップをしていくことで、より良い医療的ケア児支援につながるため、研修の参加人数を指標とした。						
	目的に対する指標（成果指標）	指標	医療的ケア児コーディネーター養成研修受講済者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年（H28）	H29	H30	H31
		7	令和7年度	目標	—	—	—	1
				実績	—	—	—	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	3	4	5	6	7
		実績	2	2	3	4	5	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		医療的ケア児支援を総合調整することができるコーディネーターが増えることで、他分野で連携のとれた支援が可能となるため、指標とした。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	医療的ケア児者が地域で暮らすための必要な支援を、当事者のニーズを把握し、協議会での協議内容を反映しながら提供していく。

課題・問題点

令和7年度 補助金評価シート

No. 12

補助金名	墨田区医療的ケア児等コーディネーター支援体制整備促進事業補助金		
主管課	障害者福祉課	電話番号（内線）	3077
根拠法令	墨田区医療的ケア児等コーディネーター支援体制整備促進事業補助金交付要綱		
補助概要	民間事業所等に配置されている医療的ケア児等コーディネーターの活動に係る経費の一部を補助する		
目的	医療的ケア児等コーディネーターの活動経費の一部を補助することにより、地域における活動の定着を図り、医療的ケア児等の支援体制の整備を促進することを目的とする		
対象	都道府県及び政令指定都市が実施する医療的ケア児等コーディネーター養成研修の修了者を配置している、区内に住所を有する医療的ケア児等及びその家族が利用する東京都内の民間事業所等		
基準	区独自基準		
補助条件	補助対象者が医療的ケア児等コーディネーターのサービス等利用計画及び障害児支援利用計画策定前の業務のうち、次に掲げる業務を行った場合に補助する。ただし、障害福祉サービス等に係る報酬が発生する場合は、補助の対象としない。 (1) 退院時カンファレンス参加業務 (2) 在宅移行支援に係る連絡調整業務 (3) 基本相談支援業務 (4) 個別支援会議参加業務 (5) 個別支援に係るスーパーバイズ業務		
経過	開始年度	令和6年度	終了予定
	令和6年度 墨田区医療的ケア児等コーディネーター支援体制整備促進事業補助金交付要綱設置		
議会質問の状況			
その他特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		0	0	0	0	192	192
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	0	0	0	14	192
財源	国	0	0	0	0	7	96
	都	0	0	0	0	3	48
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	0	0	4	48
執行率（％）		－％	－％	－％	－％	7.29％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	補助の申請件数				単 位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		3	令和 7 年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	—	—	3	3
		実績	—	—	—	—	1	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		コーディネーターを配置する事業所の支援に繋がり、地域全体の医療的ケア児の支援体制が促進されるため指標とした。						
		指 標	補助対象業務の実施時間（延べ時間）				単 位	時間
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		12	令和 7 年度	目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	—	—	—	—	12	12
		実績	—	—	—	—	3.5	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		業務に対し、補助が出ることでコーディネーターの活動が充実し、より良い医療的ケア児支援に繋がるため、指標とした。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	医療的ケア児支援において、総合調整を担うコーディネーターの存在は必要不可欠である。その活動経費を補助することで、医療的ケア児の支援体制整備へ繋がるため、区として実施する必要がある。

課題・問題点

令和7年度 事務事業評価シート

No. 13

施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する					
事 業 名	障害者余暇活動支援事業費					
主管課	障害者福祉課				電話番号（内線）	3362
目 的	障害者を対象とした余暇活動を実施する団体に対し、その経費の一部を補助することにより、障害者の休日等の余暇活動の場を確保する。					
対 象 者	余暇活動運営団体					
根拠法令 関連計画	墨田区障害者余暇活動支援事業補助金交付要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2	
事業内容	各団体に対する人件費及び会場使用料の一部補助。 ・チームひまわりっ子 ・ダンスサークル・ダンスさんさん					
経 過	開始年度	平成29年度			終了予定	
	チームひまわりっ子が、会員の年齢上昇に伴い障害児日中活動事業補助の対象とならなくなることを受け、新たな補助の仕組みとして事業を開始した。 また、東京都においては、平成28年度から包括補助事業の新規メニュー「青年・成人期の余暇活動等支援事業」を実施しており、本事業はこのメニューを活用している。					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	令和4年度は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、ダンスサークル・ダンスさんさんは活動を停止していたが、令和5年度から活動を再開した。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		1,152	1,152	1,103	1,103	1,052	1,068
A. 決算額（令和7年度は見込み）		678	791	774	1,001	1,004	1,068
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	339	395	387	551	526	597
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		339	396	387	450	478	471
執行率（％）		58.85％	68.66％	70.17％	90.75％	95.44％	100％
B. 人コスト		882	880	818	851	915	
総事業費（A+B）		1,560	1,671	1,592	1,852	1,919	
予算書P（令和7年度）		P153-23		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	1,001	負担金補助及び交付金	1,004	負担金補助及び交付金	1,068
概 要		概 要		概 要	
補助金		補助金		補助金	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	補助対象団体数				単位	箇所
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		2	令和7年度	目標		2	2	2
				実績		2	2	2
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	2	2	2	2	2
		実績	2	2	2	2	2	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区内団体が安定した活動を継続していくことが、障害者の余暇活動を支えていくうえで重要であるため。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	補助対象団体の延べ参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		830	令和7年度	目標		830	830	830
				実績		836	840	806
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	830	830	830	830	830	830
		実績	314	392	329	657	632	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		参加者数が安定して推移することで区内の障害者の余暇活動支援の場を確保できる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	補助により団体の活動が活発になることで、地域のイベントへの参加の機会も増え、障害者が地域社会と関わる事が可能となっている。障害者の余暇活動の場が確保され、生きがいを出すためには、区としても実施する必要がある。

課題・問題点
利用者のニーズと各団体の受け入れ体制のバランスを注視するとともに、団体の運営、財政状況等について、引き続き確認していく必要がある。

令和7年度 補助金評価シート

No. 13

補助金名	障害者余暇活動支援事業費		
主管課	障害者福祉課	電話番号（内線）	3362
根拠法令	墨田区障害者余暇活動支援事業補助金交付要綱		
補助概要	障害者を対象とした余暇活動を実施する団体に対し、その経費の一部を補助することにより、障害者の休日等の余暇活動の場を確保する。		
目的	障害者を対象とした余暇活動を実施する団体に対し、その経費の一部を補助することにより、障害者の休日等の余暇活動の場を確保する。		
対象	余暇活動運営団体		
基準	区独自基準		
補助条件	墨田区内に所在し、次の条件を満たす任意団体等に交付する。ただし、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号）第77条第3項の規定に基づき行う障害者日中一時支援事業及びこれに類する法律に基づく事業を除くものとする。 (1) 1月当たり2日以上活動を行うこと。 (2) 活動時間は各回2時間以上であること。		
経過	開始年度	平成29年度	終了予定
	平成29年度事業開始 チームひまわりっ子が障害児日中活動事業補助の対象とならなくなることを受け、新たな補助の仕組みとして事業を開始した。また、東京都においては、平成28年度から包括補助事業の新規メニュー「青年・成人期の余暇活動等支援事業」を実施しており、本事業はこのメニューを活用している。		
議会質問の状況			
その他特記事項	令和4年度は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、ダンスサークル・ダンスさんさんは活動を停止していたが、令和5年度から活動を再開した。		

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		1,152	1,152	1,103	1,103	1,052	1,068
A. 決算額（令和7年度は見込み）		678	791	774	1,001	1,004	1,068
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	339	396	387	551	526	597
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		339	395	387	450	478	471
執行率（％）		58.85％	68.66％	70.17％	90.75％	95.44％	100％

補助金の 成 果	手 段 に 対する指標 (活動指標)	指 標	補助対象団体数				単 位	箇所
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		2	令和 7 年度	目標	2	2	2	2
				実績	2	2	2	2
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2	2	2	2	2	2
		実績	2	2	2	2	2	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		区内団体が安定した活動を継続していくことが、障害者の余暇活動を支えていくうえで重要であるため。						
	目 的 に 対する指標 (成果指標)	指 標	補助対象団体の延べ参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		830	令和 7 年度	目標	—	830	830	830
				実績	—	836	840	806
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	830	830	830	830	830	830, 830
		実績	314	392	329	657	632	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		参加者数が安定して推移することで区内の障害者の余暇活動支援の場を確保できる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	補助により団体の活動が活発になることで、地域のイベントへの参加の機会も増え、障害者が地域社会と関わる事が可能となっている。障害者の余暇活動の場が確保され、生きがい を創出するためには、区としても実施する必要がある。

課題・問題点
利用者のニーズと各団体の受け入れ体制のバランスを注視するとともに、団体の運営、財政状況等について、引き続き確認していく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 14

施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する					
事 業 名	障害者福祉功労者等顕彰費					
主管課	障害者福祉課				電話番号（内線）	3367
目 的	雇用優良事業所・自立生活者・自立支援功労者に対し、感謝状・記念品を贈呈し、その実績・功績を広く周知することで障害者福祉の一層の進展を図る。					
対 象 者	区民及び区内事業所					
根拠法令 関連計画	墨田区障害者雇用優良事業所感謝状贈呈要綱 墨田区障害者福祉功労者感謝状等贈呈要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2	
事業内容	目的及び法令に沿う雇用優良事業所・自立生活者・自立支援功労者に対し、「すみだスマイル・フェスティバル：表彰式」において感謝状・記念品を贈呈し、その実績・功績を広く周知することで、障害者福祉の一層の進展を図る。 ・雇用優良事業所 障害者雇用に深い理解を有し、その雇用に顕著な実績のある事業所に感謝状を贈呈し、その実績を広く周知することによって区内事業所への障害者雇用の一層の促進を図る。 ・自立生活者・自立支援功労者 現在、自立生活をして他の障害者の規範となる活躍をしている障害のある方（＝自立生活者）及び障害福祉に携わり、その援護と社会的自立のため貢献した者（＝自立支援功労者）に対しその努力を顕彰する。					
経 過	開始年度	昭和54年度			終了予定	
	墨田区障害者雇用優良事業所感謝状贈呈：昭和54年度から実施 墨田区障害者福祉功労者感謝状等贈呈：昭和60年度から実施 平成14年度からは障害者福祉大会において顕彰 平成26年度からは福祉大会とふれあいフェスティバルを統合して、スマイル・フェスティバルにおいて顕彰					
議会質問 の 状 況	[平成29年1定]平成26年以降表彰企業がないことについて。					
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		0	92	92	92	89	123
A. 決算額（令和7年度は見込み）		0	74	40	78	77	123
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		0	74	40	78	77	123
執行率（％）		－％	80.43％	43.48％	84.78％	86.52％	100％
B. 人コスト		1,764	1,759	1,636	1,702	1,831	
総事業費（A+B）		1,764	1,833	1,676	1,780	1,908	
予算書P（令和7年度）		153-26		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
需用費	78	需用費	77	需用費	123
概 要		概 要		概 要	
記念品等		記念品等		記念品等	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	表彰対象者及び事業所数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		5	令和7年度	目標	5	5	5	5
				実績	5	4	0	3
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5	5	5	5	5	5
		実績	0	2	1	4	3	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		障害者福祉の模範となる障害者自立生活者、障害者自立支援功労者、障害者雇用優良事業所を選定することで障害者福祉向上への意欲が高まる。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	参加人数				単位	
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		1100	令和7年度	目標	1,050	1,050	1,050	1,050
				実績	950	900	0	700
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,050	1,050	1,050	1,075	1,075	1,100
		実績	0	0	0	0	0	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		大勢の参加者が見込まれるスマイル・フェスティバルの中で表彰を行うため、イベントの参加人数によって本事業の認知度を高めることができる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	スマイルフェスティバルの壇上で表彰を行うことで、広く周知することができ、経費の削減も図られる。今後も障害者団体連合会やハローワークと連携をとり、本事業を実施する。

課題・問題点
新型コロナウイルス感染拡大に伴い令和2、3、4、5、6年度はスマイルフェスティバルでの表彰式が中止となったことで、今後も表彰式の実施等について検討が必要である。また、表彰式をおこなわない場合、本事業を広く周知するための方法についても検討が必要である。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 15

施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する					
事 業 名	障害者施策推進協議会事業費					
主管課	障害者福祉課				電話番号（内線）	3077
目 的	墨田区障害者行動計画等の障害者施策の推進に当たり、障害者団体代表、区議会議員及び関係機関の職員等からなる本協議会において、計画の推進状況及び策定等について協議を行う。					
対 象 者	障害者団体の代表、学識経験者、区議会議員、関係行政機関					
根拠法令 関連計画	障害者基本法第36条第4項 墨田区障害者施策推進協議会に関する要綱					
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2	
事業内容	・ 墨田区障害者行動計画実績報告・事業計画の作成 ・ 墨田区障害者施策推進協議会の開催					
経 過	開始年度	昭和56年度			終了予定	
	昭和57年3月 墨田区障害者行動計画（昭56～平2）策定 平成3年1月 墨田区第2期障害者行動計画（平3～平12）策定 平成8年4月 第2期墨田区障害者行動計画後期計画（平3～平12）策定 平成13年3月 第3期墨田区障害者行動計画（平13～平22）策定 平成18年3月 第3期墨田区障害者行動計画（後期）（平18～平22）策定 平成23年3月 第4期墨田区障害者行動計画（前期・平23～平26）策定 平成27年3月 第4期墨田区障害者行動計画（後期・平27～令2）策定 令和3年3月 第5期墨田区障害者行動計画（令3～令5）策定 令和6年3月 第6期墨田区障害者行動計画（令6～令8）策定					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	第5期墨田区障害者行動計画（令3～令5）以降は、これに「墨田区障害福祉計画」及び「墨田区障害児福祉計画」を合わせ、3つの計画を「墨田区障害福祉総合計画」として策定している。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		477	160	164	495	164	178
A. 決算額（令和7年度は見込み）		350	130	120	374	105	178
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		350	130	120	374	105	178
執行率（％）		73.38％	81.25％	73.17％	75.56％	64.02％	100％
B. 人コスト		882	880	818	851	915	
総事業費（A+B）		1,232	1,010	938	1,225	1,020	
予算書P（令和7年度）		P153-25		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
報酬	330	報酬	105	報酬	160
役務費	44			役務費	18
概 要		概 要		概 要	
・ 協議会開催に伴う委員報酬（3回開催） ・ 資料送付等		・ 協議会開催に伴う委員報酬（1回開催）		・ 協議会開催に伴う委員報酬（1回開催予定）	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	開催回数				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		1	令和7年度	目標	1	1	1	1
				実績	1	2	1	1
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	1	1	3	1	1
		実績	3	1	1	3	1	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		会議において、障害者行動計画を中心に各事業の進捗状況を確認し、協議を行うため、会議の開催回数を指標とした。計画策定の時期に応じて会議の開催には変動がある。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	障害者行動計画における計画通りに進んでいる事業数				単位	事業
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		132	令和7年度	目標	132	132	132	132
				実績	146	145	143	143
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	132	132	132	132	132	132
		実績	131	122	132	133	実績集計後入力する	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		障害者行動計画に関しては、各事業について、毎年事業評価を行っており、それぞれの事業が順調に進んでいくことが成果の一つと考えられる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	障害者行動計画等の策定、進捗状況の確認の場として、より効率のよい体制に資するよう検討する。

課題・問題点

令和7年度 事務事業評価シート

No. 16

施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する				
事 業 名	会計年度任用職員給与費				
主管課	すみだふれあいセンター			電話番号（内線）	5600-2001
目 的	区内に居住する、概ね１８歳以上の知的障害のある方又は身体に障害のある方のうち、一般の雇用関係に入ることが困難な方のために作業の機会を提供するとともに、社会的自立を支援する。				
対 象 者	知的障害のある方及び身体に障害のある方				
根拠法令 関連計画	障害者総合支援法（施行規則第６条）、墨田区福祉作業所条例、同条例施行規則、墨田区福祉作業所運営要綱				
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	【職員体制】常勤13、再任用３、会計年度任用８
事業内容	障害者総合支援法に基づく就労継続支援Ｂ型施設（利用時間：午前９時から午後３時４５分まで）				
	・ 作業者に対し、職員指導の下、企業から受注した軽作業の提供 ・ 作業所独自の自主生産品製作作業 ・ 利用者が地域社会で生活する際に必要な知識やマナーの習得に必要な訓練の実施 ・ 給食や健康管理等の生活支援の実施				
経 過	開始年度	平成５年度			終了予定
	平成５年５月	福祉作業所として事業開始			
	平成15年10月	知的障害者者福祉法に基づく「知的障害者通所授産施設」に移行			
	平成21年４月	障害者自立支援法に基づく「障害者就労継続支援事業Ｂ型」に移行			
議会質問 の 状 況	平成29年12月	区民福祉委員会	利用者工賃支給額について		
	平成30年12月	区民福祉委員会	福祉作業所の運営について		
	令和元年12月	区民福祉委員会	受注と工賃向上について		
	令和２年６月	区民福祉委員会	就労継続支援Ｂ型事業所で働く障害者へ収入面での経済的支援について		
	令和２年９月	区民福祉委員会	障害者の工賃補助について		
	令和３年12月	11月議会定例会	障害者福祉に関する工賃向上計画について		
そ の 他 特記事項					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		58,483	57,274	56,921	61,969	72,743	75,992
A. 決算額（令和7年度は見込み）		54,972	55,548	54,766	58,673	69,735	75,992
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	56,759	48,491	63,301	67,042	72,685	74,504
一般財源		△1,787	7,057	△8,535	△8,369	△2,950	1,488
執行率（％）		94％	96.99％	96.21％	94.68％	95.86％	100％
B. 人コスト		135,113	134,725	117,464	114,739	131,711	
総事業費（A+B）		190,085	190,273	172,230	173,412	201,446	
予算書P（令和7年度）		P156 1-(1)、(3)、(4)		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	18,858	委託料	20,613	委託料	22,464
報酬	16,914	報酬	20,431	報酬	20,585
報償費	9,412	報償費	10,875	報償費	11,657
役務費	4,588	職員手当等	8,052	職員手当等	8,115
職員手当等	3,418	役務費	4,725	役務費	5,290
概 要		概 要		概 要	
・会計年度任用職員等報酬 ・利用者工賃等 ・給食等委託		・会計年度任用職員等報酬 ・利用者工賃等 ・給食等委託		・会計年度任用職員等報酬 ・利用者工賃等 ・給食等委託	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	工賃支給延利用者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		14,580	令和7年度	目標	14,580	14,580	14,580	14,580
				実績	11,870	11,024	10,777	11,520
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	12,030	12,540	13,050	13,560	14,070	14,580
		実績	9,904	10,556	11,115	10,540	10,241	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		定員×概ねの年間開所日数＝14,580（人）を目標値とする。なお、基準年から最終目標値が設定されていたため、R2から最終目標値に向けた段階的な値に設定し直した。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	工賃年間支給総額				単位	千円
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		15,120	令和7年度	目標	12,600	12,600	12,600	12,852
				実績	10,177	12,148	11,693	12,703
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	13,230	13,608	13,968	14,364	14,742	15,120
		実績	11,598	9,994	9,444	9,420	10,865	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		ふれあいセンター福祉作業所の過去の実績から、月21（千円）×利用者数（人）×12（か月）を年間工賃の目標値とする。なお、R2から最終目標値に向けた段階的な値に設定し直した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	障害者が社会的に自立して生活するためには就労支援が重要であり、通常の事業所での雇用が困難な障害者に生産活動等の機会の提供、知識及び能力の向上に必要な訓練を行う施設は必要であり、ふれあいセンターが果たす役割は大きい。コロナ禍の影響で延利用者数・工賃支給総額とも減少したが、障害のある住民へのサービス上、不可欠である。

課題・問題点
利用者の高齢化が進む一方、若年層では重度の障害者が増加していることから、作業所での作業も困難な方やマンツーマンで介助が必要な利用者が増えている。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 17

施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する		
事 業 名	すみだふれあい福祉作業所事業費		
主管課	すみだふれあいセンター	電話番号（内線）	5600-2001
目 的	区内に居住する、概ね18歳以上の知的障害のある方又は身体に障害のある方のうち、一般の雇用関係に入ることが困難な方のために作業の機会を提供するとともに、社会的自立を支援する。		
対 象 者	知的障害のある方及び身体に障害のある方		
根拠法令 関連計画	障害者総合支援法（施行規則第6条）、墨田区福祉作業所条例、同条例施行規則、墨田区福祉作業所運営要綱		
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 【職員体制】常勤13、再任用3、会計年度任用8
事業内容	障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型施設（利用時間：午前9時から午後3時45分まで） ・ 作業者に対し、職員指導の下、企業から受注した軽作業の提供 ・ 作業所独自の自主生産品製作作業 ・ 利用者が地域社会で生活する際に必要な知識やマナーの習得に必要な訓練の実施 ・ 給食や健康管理等の生活支援の実施		
経 過	開始年度	平成5年度	
	終了予定		
	平成5年5月	福祉作業所として事業開始	
	平成15年10月	知的障害者福祉法に基づく「知的障害者通所授産施設」に移行	
	平成21年4月	障害者自立支援法に基づく「障害者就労継続支援事業B型」に移行	
議会質問 の 状 況	平成29年12月	区民福祉委員会	利用者工賃支給額について
	平成30年12月	区民福祉委員会	福祉作業所の運営について
	令和元年12月	区民福祉委員会	受注と工賃向上について
	令和2年6月	区民福祉委員会	就労継続支援B型事業所で働く障害者へ収入面での経済的支援について
	令和2年9月	区民福祉委員会	障害者の工賃補助について
	令和3年12月	11月議会定例会	障害者福祉に関する工賃向上計画について
そ の 他 特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		58,483	57,274	56,921	61,969	72,743	75,992
A. 決算額（令和7年度は見込み）		54,972	55,548	54,766	58,673	69,735	75,992
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	56,759	48,491	63,301	67,042	72,685	74,504
一般財源		△1,787	7,057	△8,535	△8,369	△2,950	1,488
執行率（％）		94％	96.99％	96.21％	94.68％	95.86％	100％
B. 人コスト		135,113	134,725	117,464	114,739	131,711	
総事業費（A+B）		190,085	190,273	172,230	173,412	201,446	
予算書P（令和7年度）		P156 1-(1)、(3)、(4)		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	18,858	委託料	20,613	委託料	22,464
報酬	16,914	報酬	20,431	報酬	20,585
報償費	9,412	報償費	10,875	報償費	11,657
役務費	4,588	職員手当等	8,052	職員手当等	8,115
職員手当等	3,418	役務費	4,725	役務費	5,290
概 要		概 要		概 要	
・ 会計年度任用職員等報酬 ・ 利用者工賃等 ・ 給食等委託		・ 会計年度任用職員等報酬 ・ 利用者工賃等 ・ 給食等委託		・ 会計年度任用職員等報酬 ・ 利用者工賃等 ・ 給食等委託	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	工賃支給延利用者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		14,580	令和7年度	目標	14,580	14,580	14,580	14,580
				実績	11,870	11,024	10,777	11,520
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	12,030	12,540	13,050	13,560	14,070	14,580
		実績	9,904	10,556	11,115	10,540	10,241	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		定員×概ねの年間開所日数＝14,580（人）を目標値とする。なお、基準年から最終目標値が設定されていたため、R2から最終目標値に向けた段階的な値に設定し直した。						
事業の成果	目的に対する指標 (成果指標)	指標	工賃年間支給総額				単位	千円
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		15,120	令和7年度	目標	12,600	12,600	12,600	12,852
				実績	10,177	12,148	11,693	12,703
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	13,230	13,608	13,968	14,364	14,742	15,120
		実績	11,598	9,994	9,444	9,420	10,865	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		ふれあいセンター福祉作業所の過去の実績から、月21（千円）×利用者数（人）×12（か月）を年間工賃の目標値とする。なお、R2から最終目標値に向けた段階的な値に設定し直した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	障害者が社会的に自立して生活するためには就労支援が重要であり、通常の事業所での雇用が困難な障害者に生産活動等の機会の提供、知識及び能力の向上に必要な訓練を行う施設は必要であり、ふれあいセンターが果たす役割は大きい。コロナ禍の影響で延利用者数・工賃支給総額とも減少したが、障害のある住民へのサービス上、不可欠である。

課題・問題点
利用者の高齢化が進む一方、若年層では重度の障害者が増加していることから、作業所での作業も困難な方やマンツーマンで介助が必要な利用者が増えている。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 18

施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する				
事 業 名	すみだふれあいセンター維持管理費（共用部分）				
主管課	すみだふれあいセンター	電話番号（内線）	5600-2001		
目 的	施設利用者・入居者の安全確保及び施設の適正な維持管理を図る。				
対 象 者	施設利用者・入居者				
根拠法令 関連計画	消防法、建築物における衛生的環境の確保に関する法律、水道法施行規則、すみだふれあいセンター処務規程				
実施基準	法令基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	(株)E L S
事業内容	・光熱水費の支払 ・維持管理に必要な物品の確保、作業等の委託及び点検・工事等の実施				
経 過	開始年度	平成5年度		終了予定	
	・平成5年4月開設 ・令和2年度大規模修繕工事実施				
議会質問 の 状 況					
そ の 他 特記事項					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		158,106	75,017	34,526	50,116	57,433	32,330
A. 決算額（令和7年度は見込み）		141,201	71,569	32,629	43,906	33,732	32,330
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	34,905	43,286	35,323	33,938	26,475	29,030
一般財源		106,296	28,283	△2,694	9,968	7,257	3,300
執行率（％）		89.31％	95.4％	94.51％	87.61％	58.73％	100％
B. 人コスト		8,822	8,796	8,179	8,512	9,154	
総事業費（A+B）		150,023	80,365	40,808	52,418	42,886	
予算書P（令和7年度）		P135-12		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和５年度（決算）		令和６年度（決算）		令和７年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	17,284	委託料	16,680	委託料	13,485
工事請負費	12,861	需用費	8,264	需用費	8,201
需用費	7,053	役務費	6,532	役務費	6,926
役務費	6,479	工事請負費	2,027	工事請負費	3,487
使用料及び賃借料	231	使用料及び賃借料	231	使用料及び賃借料	231
概 要		概 要		概 要	
・光熱水費 ・清掃等作業委託等 ・日常施設管理委託（株ヒット） ・給水設備改修工事等		・光熱水費 ・清掃等作業委託等 ・日常施設管理委託（株E L S） ・厨房エアコン工事等		・光熱水費 ・清掃等作業委託等 ・日常施設管理委託（株E L S） ・エレベータ（２号機）改修工事	

事業の成果	手段に対する指標（活動指標）	指標					単位	
		最終目標値	目標年度		基準年（H28）	H29	H30	H31
				目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		事業の性質上、数値指標を設定しない。						
	目的に対する指標（成果指標）	指標					単位	
		最終目標値	目標年度		基準年（H28）	H29	H30	H31
				目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		事業の性質上、数値指標を設定しない。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	公共施設包括管理業務委託の導入により保守点検業務が公共施設マネジメント推進課に移管された。

課題・問題点
老朽化により、定期点検での指摘や、設備の各種不具合が発生している。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 19

施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する				
事 業 名	移動支援事業費（すみだふれあいセンター）				
主管課	すみだふれあいセンター	電話番号（内線）	5600-2001		
目 的	センター利用者のうち、センターでの単独通所が困難である方に対し送迎バスを運行し、その利便を図ることによって、地域生活支援の促進を図る。				
対 象 者	公共交通機関を利用した通所が困難なセンター利用者				
根拠法令 関連計画	墨田区障害者施設通所移動支援車両運行事業実施要綱				
実施基準	都基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	人員体制：常勤1 委託先：三陽自動車株式会社
事業内容	朝（7：30～8：30頃）、夕（16：00～17：00頃）に利用者の自宅近くを待ち合わせ場所とし、バス1台を巡回して利用者を送迎する。				
経 過	開始年度	平成6年度		終了予定	
	平成6年9月：運行開始 平成8年6月：すみだふれあいセンター福祉作業所送迎バス運行要綱に基づき運行。 平成21年4月～：墨田区障害者施設通所移動支援車両運行事業実施要綱に基づき運行。 平成27年4月：加算制度への移行により国と都の補助金が廃止となる。 令和元年度～：地域生活支援事業移動支援事業（車両輸送型）での補助金を申請。				
議会質問 の 状 況					
そ の 他 特記事項					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		11,445	10,405	10,787	10,939	11,839	12,163
A. 決算額（令和7年度は見込み）		11,445	10,405	10,787	10,939	11,839	12,163
財 源	国	3,882	3,136	3,314	3,258	3,368	3,116
	都	1,941	1,568	1,657	1,629	1,684	1,558
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		5,622	5,701	5,816	6,052	6,787	7,489
執行率（％）		100％	100％	100％	100％	100％	100％
B. 人コスト		0	0	0	0	0	
総事業費（A+B）		11,445	10,405	10,787	10,939	11,839	
予算書P（令和7年度）		P154 5-(1)		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和５年度（決算）		令和６年度（決算）		令和７年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	10,939	委託料	11,839	委託料	12,163
概 要		概 要		概 要	
送迎バス運行委託		送迎バス運行委託		送迎バス運行委託	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	送迎車運行委託費				単位	
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		9,021	令和７年度	目標	9,964	9,021	9,021	9,021
				実績	9,964	8,940	10,640	10,937
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9,021	9,021	9,021	9,021	9,021	9,021
		実績	11,445	10,405	10,787	10,939	11,839	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		送迎車運行委託費は、送迎手段の合理化を見る指標となり得る。コストは可能な限り削減を目指す、安全性への配慮も必要であるためH28予算額を目標値とした。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	送迎車利用率				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		100	令和７年度	目標	100	100	100	100
				実績	66.8	71.5	87.2	89.6
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	90	92	94	96	98	100
		実績	87.5	80.1	88.4	85.1	87.6	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		通所者の移動支援が目的であり、送迎車利用率を指標とし、活用の度合いを計ることが重要である。基準年から設定されていた最終目標値は、R2から段階的な値に設定し直した。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	送迎車による通所者は基礎疾患がある者や重度障害者が多く、コロナウイルス感染症の影響により、通所自粛が長期化した利用者がいたため、利用率は低下した。しかし、車椅子利用や重度障害による単独通所困難者の増加を鑑みると必要かつ有効な事業であり、障害者の地域生活支援に資することができる。

課題・問題点
障害の重度化に伴う、利用者の状況に応じた対応が必要である。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 20

施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する					
事 業 名	維持管理費					
主管課	すみだふれあいセンター	電話番号（内線）	5600-2001			
目 的	すみだふれあいセンター福祉作業所の維持管理					
対 象 者	ふれあいセンター職員					
根拠法令 関連計画	障害者総合支援法、墨田区福祉作業所条例					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	【職員体制】常勤13、再任用3、会計年度任用8	
事業内容	すみだふれあいセンター福祉作業所の維持管理					
経 過	開始年度	平成5年度			終了予定	
	平成5年5月	福祉作業所として事業開始				
	平成15年10月	知的障害者福祉法に基づく「知的障害者通所授産施設」に移行				
	平成21年4月	障害者自立支援法に基づく「障害者就労継続支援事業B型」に移行				
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項						

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		904	842	1,071	1,030	1,028	922
A. 決算額（令和7年度は見込み）		736	625	804	681	889	922
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	904	842	1,071	1,030	1,028	922
一般財源		△168	△217	△267	△349	△139	0
執行率（％）		81.42％	74.23％	75.07％	66.12％	86.48％	100％
B. 人コスト		8,822	8,796	8,179	8,512	9,154	
総事業費（A+B）		9,558	9,421	8,983	9,193	10,043	
予算書P（令和7年度）		P 156 1-(2)		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
使用料及び賃借料	360	使用料及び賃借料	360	使用料及び賃借料	360
役務費	202	需用費	334	需用費	331
需用費	121	役務費	196	役務費	231
概 要		概 要		概 要	
・ O A 機器類消耗品 ・ 電話料金及び郵券購入費 ・ 機器類の借上げ		・ O A 機器類消耗品 ・ 電話料金及び郵券購入費 ・ 機器類の借上げ		・ O A 機器類消耗品 ・ 電話料金及び郵券購入費 ・ 機器類の借上げ	

事業成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標					単位	
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
				目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		事業の性質上、数値指標を設定しない。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標					単位	
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
				目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		事業の性質上、数値指標を設定しない。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	福祉作業所で事業を実施するにあたり、職員が使用する事務機器類等の調達に要する経費である。

課題・問題点
安全に施設を維持管理するためのメンテナンスを要する。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 21

施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する		
事 業 名	生産品販売コーナーの事務局運営委託費		
主管課	すみだふれあいセンター	電話番号（内線）	5600-2001
目 的	区内福祉作業所利用者の売上・利益率増による工賃アップ及び勤労意欲の向上		
対 象 者	墨田区福祉作業所等ネットワーク《Kai》参加福祉施設利用者		
根拠法令 関連計画	障害者総合支援法		
実施基準	都基準	実施方法	一部委託 人員体制・委託先 委託先：（社福）墨田さんさん会
事業内容	1 障害者施設自主生産品の共同販売を週2回（火・木）、区庁舎1階で移動式ワゴン「スカイワゴン」により実施 2 商業施設等での「自主生産品共同販売展」の開催（令和6年度は2月中旬の4日間で開催） 3 自主生産品等のネットワークによる共同受注 4 月1回のネットワーク連絡会開催		
経 過	開始年度	平成22年度	終了予定
	平成22年度：スカイワゴンによる週2回の共同販売開始（H22年8月～） 平成24年度：共同販売の事務局部門を外部委託（墨田さんさん会） 東京ソラマチ「すみだまち処」での自主生産品常設販売開始（H24年5月～） 自主生産品共同販売展開始（H25年2月～） 令和3年度：東京ソラマチ「すみだまち処」閉館に伴い自主生産品常設販売終了（～R4年3月）		
議会質問 の 状 況	[令和3年11月 3定] 工賃向上を目的とした参加事業者間の情報共有について		
そ の 他 特記事項			

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		4,888	4,888	4,888	5,059	5,104	5,192
A. 決算額（令和7年度は見込み）		4,888	4,888	4,888	5,059	5,104	5,192
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	2,443	2,443	2,444	2,529	2,551	2,595
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		2,445	2,445	2,444	2,530	2,553	2,597
執行率（％）		100％	100％	100％	100％	100％	100％
B. 人コスト		2,647	2,639	2,454	2,554	2,746	
総事業費（A+B）		7,535	7,527	7,342	7,613	7,850	
予算書P（令和7年度）		P 153 28 - (1)		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和５年度（決算）		令和６年度（決算）		令和７年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	5,059	委託料	5,104	委託料	5,192
概 要		概 要		概 要	
墨田さんさん会への運営委託		墨田さんさん会への運営委託		墨田さんさん会への運営委託	

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	ネットワーク参加施設・団体数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		22	令和７年度	目標	20	22	22	22
				実績	20	21	21	21
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	22	22	22	22	22	22
		実績	20	20	20	20	20	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		ネットワーク支援事業であることから、ネットワークに参加する施設・団体数を指標とする。区内の全施設・団体の参加を目標値とする。						
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	障害者への工賃還元額合計（概算）				単位	千円
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		6,900	令和７年度	目標	5,250	5,425	5,605	5,775
				実績	5,310	5,511	5,551	4,689
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	5,950	6,130	6,310	6,500	6,700	6,900
		実績	3,311	4,186	4,124	4,615	4,844	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		障害者施設利用者の工賃向上を目指す。売上に占める障害者への還元額（※共同販売総売上額の７掛け）は重要な指標で、販売機会の拡大がなければ毎年３％程度の伸びが妥当と考えられる。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	スカイワゴンはコロナ禍前よりも時短となっているが、安定的に営業できており、自主生産品の販路を持たない作業所等の貴重な販売機会となっている。また、作業所利用者の就労実習の場ともなるため、事業を継続する必要がある。今後も売上増額を目指すためには、新商品開発事業との両輪で対象商品のレベルアップを図っていく。

課題・問題点
・各作業所の商品販売スキルを向上させる必要がある。 ・販売機会の拡大及びキャッシュレス決済の導入について検討していく必要がある。 ・作業所利用者が、スカイワゴン販売に従事して職業訓練を行うことを活性化していく必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 22

施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する					
事 業 名	新商品開発等支援事業費					
主管課	すみだふれあいセンター	電話番号（内線）	5600-2001			
目 的	区内福祉作業所利用者の売上・利益率増による工賃アップ、勤労意欲の向上					
対 象 者	墨田区福祉作業所等ネットワーク「Kai」参加福祉施設利用者					
根拠法令 関連計画	障害者総合支援法					
実施基準	都基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	(有) モアナ企画	
事業内容	区内で活躍するクリエイターに委託し、福祉施設独自の自主生産品の改良・開発、製作、PR及び販売を支援する。					
経 過	開始年度	平成26年度			終了予定	
	平成26年度から都の地域包括支援事業の補助を受け実施。 ネットワークに参加している区内各作業所に対し調査を行い、希望する作業所に対して既存商品の改良・新商品の開発を行ってきた。 これまでに開発してきた商品群（ノベルティ等）は、「すみのわ」ブランドとして構築され、すみだ北斎美術館のミュージアムショップ、KURUMIRU（クルミル：都福祉保健局が運営する自主生産品直売ショップ）、及びすみだトリフォニーホールでの催し（財団自主事業）開催時等の機会を利用し販売してきた。 令和3年度には、商品そのものだけでなく、利用者が描いた絵を、（一社）墨田区観光協会が「みんな北斎プロジェクト」として実施したJR両国駅西口及び錦糸町駅北口のJT喫煙所の壁面デザインや、新日本フィルハーモニー交響楽団50周年記念グッズとしての活用に結びつけるなど、支援の幅を広げている。					
議会質問 の 状 況	[平成29年 3月 予算特別委員会] 今後の事業展開について [平成29年 9月 区民福祉委員会] 今後の事業展開について [平成29年12月 区民福祉委員会] 自主生産品の活用（利用）について [平成30年 3月 予算特別委員会] 本事業の予算内容について [平成30年 9月 3定] 今後の事業展開について [令和元年12月 区民福祉委員会] 受注推進と工賃向上について					
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） ・東京都福祉保健局が実施している自主生産品直売ショップ「KURUMIRU」事業についても、令和3年度から出品事業者に対し生産の方向性や生産品への助言を行うアドバイザー派遣事業を実施している。（一方で、練馬、大田では手数料や出品に係る手間の負担増で撤退する作業所が出ている。）					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		4,948	4,908	4,699	4,800	4,800	5,386
A. 決算額（令和7年度は見込み）		4,799	4,798	4,699	4,798	4,800	5,386
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	1,750	1,750	1,750	1,750	1,750	1,750
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		3,049	3,048	2,949	3,048	3,050	3,636
執行率（％）		96.99％	97.76％	100％	99.96％	100％	100％
B. 人コスト		2,647	2,639	2,454	2,554	2,746	
総事業費（A+B）		7,446	7,437	7,153	7,352	7,546	
予算書P（令和7年度）		P 153 28 - (2)		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	4,798	委託料	4,800	委託料	5,386
概 要		概 要		概 要	
(有)モアナ企画への支援委託		(有)モアナ企画への支援委託		(有)モアナ企画への支援委託	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	「すみのわ」支援施設				単位	施設
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		16	令和7年度	目標	7	8	9	10
				実績	6	7	6	6
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	11	12	13	14	15	16
		実績	6	15	13	14		
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		作業所等ネットワークに参加し自主生産を行っている施設に対し支援することを目的としているため、同ネットワークに参加している全施設の合計を目標値とする。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	「すみのわ」開発・改良商品売上額				単位	千円
		最終目標値	目標年度	基準年 (H28)	H29	H30	H31	
		3,200	令和7年度	目標	1,100	1,200	2,500	3,200
				実績	1,092	2,422	4,237	6,095
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3,300	3,400	3,500	3,600	3,700	3,800
		実績	3,368	4,266	5,336	5,223	5,734	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		福祉作業所等の利用者の工賃向上を目的としているため、売上を目標とする。R2年度以降の目標額は、予算計上額のうち自主財源額に応じて定めていくこととしている。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	コロナ禍による自主生産品売上減少の状況を脱却し、障害者アートの活用や区観光協会との連携による商品開発を行った結果「すみのわ」関連商品の販売額増につながった。今後は、これまでの施策を継続するとともに、他自治体の作業所とも連携した商品開発や販路拡大等により、利用者の工賃向上を図っていく。

課題・問題点
・自主生産品の製作能力を有する利用者の数が限られている。 ・東京都福祉保健局の自主生産品直売ショップ「KURUMIRU」への出品については、同店が利幅のある競争力の高い商品の生産・販売を目標にしているため、十分に活用しきれていない。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 23

施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する					
事 業 名	すみだ障害者就労支援総合センター事業					
主管課	すみだ障害者就労支援総合センター				電話番号（内線）	5600-2004
目 的	障害者がそれぞれの希望に沿って社会に参加し、社会の一員としての役割を担い働きがいを感じながら、楽しくいきいきと日常生活を送っています。					
対 象 者	○墨田区在住の障害のある方で企業等で働く、または働こうとする方 ○障害者雇用を行う、または行おうとする区内企業等					
根拠法令 関連計画	障害者総合支援法、すみだ障害者就労支援総合センター条例、区市町村障害者就労支援事業実施要領（東京都） 墨田区障害者福祉総合計画					
実施基準	法令基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常3会1、委託先NP0自立支援センターむく、NP0のぞみ	
事業内容	○総合相談室（都基準）：障害のある方の就労に関する相談、企業からの相談支援 ○就労移行支援事業所（法内）：企業等への就労をめざす障害のある方の訓練、就労支援 ○就労定着支援事業所（法内）：就労系福祉サービスを経て就労した方の、就労定着支援 ○就労生活支援事業所（都基準）：企業等で就労する障害者の就労継続のための支援 ○計画相談事業所（法内）：障害福祉サービス利用を希望する障害のある方の利用計画作成、モニタリング等 ○就労選択支援事業所（法内）：就労継続B型事業所の利用を希望する方等に対し、アセスメントや関係者会議を行う【令和7年10月から】					
経 過	開始年度	平成23年度			終了予定	
	平成17年6月 東京都の包括補助事業「区市町村障害者就労支援事業実施要領」を基に、すみだふれあいセンター内に「すみだ障害者就労支援センター」開設 平成24年3月 すみだ障害者就労支援総合センター開所 「就労移行支援施設」「就労生活支援施設」「手話通訳等派遣事務所」を開設 平成30年4月 「就労定着支援施設」を開設 令和7年1月 「相談支援事業所」開設 令和7年10月（予定）「就労選択支援事業所」開設					
議会質問 の 状 況	〔令和4年 3月 予算特別委員会〕 在宅型就労移行支援事業所の有効性について（実施中と説明）					
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 他区の状況：区市町村障害者就労支援事業については23区全て実施している 年間スケジュール：PRイベントとして、9月に「障害者就労支援フェア」、11月上旬にふれあいセンターと「みどりピアまつり」実施予定					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		107,359	105,473	109,533	116,806	146,938	139,391
A. 決算額（令和7年度は見込み）		105,593	99,800	107,411	111,422	145,316	139,391
財 源	国	0	118	738	760	682	0
	都	1,732	1,023	1,333	1,344	1,305	0
	その他	42,090	38,333	45,905	50,762	39,526	0
一般財源		61,771	60,326	59,435	58,556	103,803	139,391
執行率（％）		98.36％	94.62％	98.06％	95.39％	98.9％	100％
B. 人コスト		26,495	26,388	24,560	25,676	27,507	
総事業費（A+B）		132,088	126,188	131,971	137,098	172,823	
予算書P（令和7年度）		156-4(3)		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	105,051	委託料	11,226	委託料	128,224
報酬	2,972	報酬	3,033	報酬	3,033
職員手当等	619	職員手当等	1,226	職員手当等	1,231
概 要		概 要		概 要	
報酬・職員手当：会計年度任用職員給与費（1名） 委託料：センター事業（就労移行支援・定着・就労生活支援等）委託料及び聴覚障害者生活支援事業等委託料外		報酬・職員手当：会計年度任用職員給与費（1名） 委託料：センター事業（計画相談事業1月開始）委託料及び聴覚障害者生活支援事業等委託料外		報酬・職員手当：会計年度任用職員給与費（1名） 委託料：センター事業（就労選択支援事業10月開始予定）等委託料及び聴覚障害者生活支援事業等委託料外	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指 標	福祉施設から一般就労への移行者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		49	令和 7 年度	目標	22	32	36	36
				実績	24	27	24	38
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	36	49	49	49	49	49
		実績	40	32	33	39	34	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		墨田区障害福祉計画から項目引用、目標及び実績値連動						
	目的に対する指標 (成果指標)	指 標	就労支援登録者のうち離職者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年 (H28)	H29	H30	H31
		25	令和 7 年度	目標	29	29	28	28
				実績	39	30	32	37
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	27	27	26	26	22	25
		実績	39	35	38	40	32	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		就労後の環境変化、生活面の新たな課題の影響による離職を防ぎ、就労生活の継続をめざしているため						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	・法定雇用率上昇とともに、障害者就労支援に対するニーズは今後も高まる見込みであり、その重要性から「就労支援員」の国家資格化も検討されている。なお離職者数は、精神に障害のある方の雇用拡大や雇用の多様化等により今後も増加の見込みであり、成果について総合的な判断が必要。

課題・問題点
今後も法定雇用率は上昇の見込みであり、墨田区の特性を勘案した効果的、効率的な事業展開を柔軟に行う必要がある。令和7年度から「就労選択支援事業」が開始される。障害者就労に影響を与える取り巻く背景の動きが活発であり、関係機関と連携した迅速な対応が求められる。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 24

施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する					
事 業 名	障害者による公園等美化活動支援事業費（保健予防課）					
主管課	保健予防課				電話番号（内線）	5608-6506
目 的	区内公園の花壇の整備等の業務を障害福祉サービス事業所へ委託することにより、緑の創出・保全を行うとともに、施設利用者の工賃向上に役立てる。					
対 象 者	障害福祉サービス事業所					
根拠法令 関連計画	障害者総合支援法					
実施基準	都基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤1・委託先：とらいあんぐる、おきあがりこぼし	
事業内容	区内公園の花壇の整備等の業務を障害福祉サービス事業所へ委託する。					
経 過	開始年度	平成22年度			終了予定	
	・平成22年度：主に精神障害者を対象とした2事業所で開始。 ・平成23年度：主に精神障害者を対象とした1事業所で追加開始。 ・令和6年度：緑化活動実施場所を新たに1施設追加。					
議会質問 の 状 況	なし					
そ の 他 特記事項	本事業は、東京都の「緑の東京10年プロジェクト」の一事業として実施しているものであり、今後の実施については、東京都の動向により流動的である。また、主に知的・身体障害者を対象とした事業所については、同様の事業を障害者福祉課で行っている。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		2,516	2,654	2,869	2,632	3,218	3,227
A. 決算額（令和7年度は見込み）		2,516	2,654	2,869	2,632	3,218	0
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	1,258	1,327	1,434	1,315	1,315	1,613
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		1,258	1,327	1,435	1,317	1,903	1,614
執行率（％）		100％	100％	100％	100％	100％	-％
B. 人コスト		0	0	0	0	915	
総事業費（A+B）		2,516	2,654	2,869	2,632	4,133	
予算書P（令和7年度）		P153 No. 27		執行実績報告書P（令和6年度）		P834	

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
委託料	2,632	委託料	3,218	委託料	3,227
概 要		概 要		概 要	

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	実施事業所数				単位	箇所
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		4	令和8年度	目標	3	3	3	3
				実績	3	3	3	3
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	3	3	3	3	4	4
		実績	3	3	3	3	4	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		緑化活動を安定的・継続的に実施できていることが確認できる指標の一つである。						
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	事業従事者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		560		目標	450	480	490	500
				実績	471	434	424	438
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	500	510	520	530	540	550
		実績	347	348	366	361	538	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		賃金向上に向けた活動が確認できる指標の一つである。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	障害者施設にとって、官公需による福祉的就労の場の提供は不可欠であり、当該事業は障害者にとっても継続的に取り組める内容であることから、事業を継続実施する必要がある。 また、緑化推進事業への参入を検討している事業所を探り、施設利用者の工賃向上につなげる。

課題・問題点
活動を行う場所（公園等）の確保が必要である。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 25

施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する					
事 業 名	精神障害者自立支援給付事業所運営支援事業費					
主管課	保健予防課				電話番号（内線）	5608-6506
目 的	墨田区内に設置する指定障害福祉サービス事業所の運営に要する費用の一部を補助することにより、経営の安定化を図るとともに、サービス利用者の福祉の向上を図ることを目的とする。					
対 象 者	法人が墨田区内に設置し、かつ適正な運営を行っている指定障害福祉サービス事業所					
根拠法令 関連計画	障害者総合支援法					
実施基準	都基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤 1	
事業内容	墨田区内に設置する指定障害福祉サービス事業所の運営に要する費用の一部を補助する。					
経 過	開始年度	平成19年度			終了予定	
	平成18年4月 障害者自立支援法施行 平成19年4月 障害者自立支援法内事業に3箇所移行 平成21年4月 障害者自立支援法内事業に2箇所移行 平成21年10月 障害者自立支援法内事業に1箇所設置 平成22年4月 障害者自立支援法内事業に1箇所増設 平成23年4月 障害者自立支援法内事業所に1箇所移行、事業所1箇所設置 平成24年4月 障害者自立支援法内事業に1箇所増設 平成25年4月 障害者総合支援法施行 平成26年3月 障害者総合支援法内事業に1箇所増設 平成30年8月 障害者総合支援法内事業に1箇所増設 令和2年10月 事業所1箇所廃止 令和3年 4月 障害総合支援法内事業に1箇所増設 令和5年 4月 令和5年4月1日以降に新設した事業所に対する補助金を廃止（墨田区精神障害者障害福祉サービス事業補助金）					
議会質問 の 状 況	なし					
そ の 他 特記事項	精神障害者が主な利用者である事業所に対する補助を保健予防課で実施している。知的・身体障害者が主な利用者である事業所に対する同様の補助については、障害者福祉課で実施している。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		124,263	103,901	102,753	109,963	114,019	110,237
A. 決算額（令和7年度は見込み）		114,574	98,353	102,506	104,134	108,753	0
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	62,982	56,794	59,905	63,421	66,319	62,683
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		51,592	41,559	42,601	40,713	42,434	47,554
執行率（％）		92.2％	94.66％	99.76％	94.7％	95.38％	-％
B. 人コスト		0	0	0	0	2,746	
総事業費（A+B）		114,574	98,353	102,506	104,134	111,499	
予算書P（令和7年度）		P155 No. 10		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
負担金補助及び交付金	104,134	負担金補助及び交付金	108,753	負担金補助及び交付金	110,237
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	補助金交付事業所数				単位	所
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		10	令和8年度	目標	9	9	9	9
				実績	9	9	9	10
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	9	10	10	10	10	10
		実績	10	10	10	10	10	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		事業所の運営に要する費用の一部を補助することが目的達成のための手段であるため。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	事業所通所者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		39,000	令和8年度	目標	28,000	35,000	35,000	36,000
				実績	34,606	38,335	36,124	36,772
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	36,000	37,000	37,000	38,000	38,000	39,000
		実績	39,392	38,599	35,492	34,927	35,897	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		本事業の利用者が増加することにより、より多くのサービス利用者の福祉の向上が期待できるため。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	精神障害者が主な利用者である事業所は、その日の状況により通所者数が不安定であるため、一定の助成がないと事業所運営できない状況があり、事業所の経営の安定化及びサービス利用者の福祉の向上を図るため、事業を継続する必要があるが、助成内容については、より効果的な内容となるよう、検討していく。

課題・問題点
令和5年度に、第三者評価受審年度に当たる事業所が前年の1か所から7か所による増加した。また、令和6年度より障害者等雇用加算が新たに補助対象項目となったことに伴い、予算額が年々増加している。事業所の経営の安定化及び利用者の福祉の向上を図るため、適切な補助事業を実施する必要がある。

令和7年度 事務事業評価シート

No. 26

施 策	442 障害者の社会参加を支援し、生きがいを創出する					
事 業 名	心の健康づくり対策事業費					
主管課	健康推進課				電話番号（内線）	3622-9163
目 的	複雑化した社会生活の発展とともに精神障害者の数は増加している。精神障害者及びその家族に対し、保健師等による地域精神保健福祉活動として相談事業を実施するとともに家族の会や講演会など行い、地域住民の心身の健康に関する知識の普及啓発を図り、社会復帰と自立、社会経済活動への坂を支援する。					
対 象 者	精神障害者および疑いの者、その家族、地域住民等					
根拠法令 関連計画	精神保健及び精神障害者の福祉に関する法律 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 すみだ健康づくり総合計画、墨田区障害福祉計画					
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤5、会計年度2	
事業内容	●心の健康に課題を抱えている本人及びその家族、関係者を対象とした専門医等による各種相談事業（通年実施） こころの健康相談、思春期相談、依存症相談 ●こころの病がある方の家族の会、家族のための連続講座 ●精神保健講演会（うつ予防講演会、思春期講演会、依存症対策講演会） ●事例検討会 ●地域精神保健福祉活動 保健師等専門職による相談事業を実施し相談者の抱える課題の解決に取り組むとともに、関係機関と連携し社会復帰と自立、社会経済活動への参加を支援する。					
経 過	開始年度	昭和41年度			終了予定	
	令和4年度 「精神デイケア事業（平成3年開始）」終了。 今後においては、地域の一員としてさらに理解が進むよう、行政及び地域関係者の連携の下で包括的システムの構築を図る。また保健師をはじめとする専門職による「アウトリーチ」型の支援をこれまで以上に進めていく。					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特記事項	突然の死別を経験した方への心のケア「グリーフ（悲嘆）ケア」について地域保健福祉活動として実施。都や支援団体等の情報をホームページ等で提供する。					

予算・決算額推移（単位：千円）		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
予算現額（令和7年度は当初予算）		14,078	13,997	13,895	10,234	11,096	11,501
A. 決算額（令和7年度は見込み）		8,775	9,611	12,120	8,418	7,253	11,501
財 源	国	2,298	2,364	2,954	2,954	2,274	2,116
	都	2,194	1,956	2,874	2,874	2,663	2,611
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		4,283	5,291	6,292	2,590	2,316	6,774
執行率（％）		62.33％	68.66％	87.23％	82.26％	65.37％	100％
B. 人コスト		30,877	29,906	31,126	29,792	32,039	
総事業費（A+B）		39,652	39,517	43,246	38,210	39,292	
予算書P（令和7年度）		191		執行実績報告書P（令和6年度）			

主な予算・決算の内訳（単位：千円）					
令和5年度（決算）		令和6年度（決算）		令和7年度（当初予算）	
節	金額	節	金額	節	金額
報酬	4,574	報酬	3,997	報酬	5,892
報償費	2,686	報償費	2,614	報償費	2,908
職員手当等	902	職員手当等	1,021	職員手当等	2,382
需用費	252	需用費	221	需用費	260
使用料及び賃借料	3	旅費	4	旅費	45
概 要		概 要		概 要	

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	普及啓発の参加者/相談事業の参加者				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		200/100	令和7年度	目標	200/100	200/100	200/100	200/100
				実績	247/99	225/104	133/103	133/107
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	200/100	200/100	200/100	200/100	200/100	200/100
		実績	88/81	55/60	203/106	242/90	293/190	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		事業の実績見込み（講演会定員等）に基づき指標を設定している。講演会ではオンライン参加やオンデマンド導入した。						
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	精神保健に関する知識・情報を正しく理解した割合				単位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	H31
		80%	令和7年度	目標	80%	80%	80%	80%
				実績	77%	85%	91%	97%
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	80%	80%	80%	80%	80%	80%
		実績	94%	100%	92%	87%	91%	
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		事業利用者の人数の純増のみでは区全体の精神保健に関する理解の促進の判断には不足であると考え、参加者の理解度を指標としている。						

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	講演会は、会場実施のほかオンラインやオンデマンドを活用し、幅広く区民に向けて普及啓発を行う。相談事業は、多岐にわたる内容に対応できるよう専門職かつ困難事例には複数対応実施している。引き続き地域関係機関と連携のもと事業運営を行う。

課題・問題点
地域精神保健福祉活動における精神保健相談件数は増加傾向にあるが、精神保健福祉法の一部改正により令和6年4月より、自治体の相談支援対象が精神障害者のほか「精神保健に課題を抱える者」も対象となったことで今後も相談件数の増加が見込まれる。